

# 長野市学校施設長寿命化計画

(長野市公共施設個別施設計画 学校施設編)

令和3年2月

長野市教育委員会事務局総務課

## 目 次

第1章 学校施設長寿命化計画策定の背景及び目的 .....	1
1 学校施設長寿命化計画の背景.....	1
2 学校施設長寿命化計画の目的.....	3
3 学校施設長寿命化計画の期間.....	4
第2章 学校施設の現状と課題 .....	5
1 長寿命化計画の対象施設.....	5
2 児童・生徒数・学級数と施設保有面積の推移.....	6
(1) 小中学校施設 .....	6
(2) 給食施設.....	9
(3) 高等学校施設 .....	11
3 児童・生徒数の将来推計値 .....	12
4 学校施設の整備状況 .....	13
(1) 小中学校施設 .....	13
(2) 給食施設.....	14
(3) 高等学校施設 .....	15
5 各施設の維持更新費用の推移.....	16
(1) 小中学校施設 .....	16
(2) 給食施設.....	18
(3) 高等学校施設 .....	19
6 これまでの小中学校施設の更新周期.....	20
7 各施設の維持更新費用推計 .....	21
(1) 小中学校施設 .....	21
(2) 給食施設.....	22
(3) 高等学校施設 .....	23
第3章 学校施設の老朽化状況評価 .....	24
1 学校施設の老朽化状況の把握.....	24
2 構造躯体の健全性.....	25
3 構造躯体以外の健全性 .....	26
4 耐力度調査の実施.....	27
第4章 学校施設整備の基本的な考え方 .....	28
1 総合管理計画との整合性.....	28
2 適正配置等.....	29
3 施設整備の基本方針 .....	31

第5章 学校施設の長寿命化方針・整備水準・維持管理 .....	32
1 長寿命化の方針 .....	32
(1) 目標使用年数の設定 .....	32
(2) 改修周期の設定 .....	32
2 改修等の整備水準 .....	34
(1) 校舎 .....	34
(2) 屋内運動場 .....	35
(3) 各種設備の更新目安 .....	36
(4) プール .....	36
(5) 給食施設 .....	37
3 学校施設の維持管理 .....	38
(1) 各種法定点検・保守点検の確実な実施 .....	38
(2) 日常的な点検 .....	38
(3) 維持改修・修繕の的確な実施 .....	38
 第6章 施設整備の実施計画 .....	 40
1 実施計画の考え方の整理 .....	40
(1) 施設整備の優先順位 .....	40
(2) 長寿命化推進に係るコストの見通し .....	40
2 長寿命化実施計画 .....	44
(1) 小中学校施設 .....	44
(2) 給食施設 .....	45
(3) 高等学校施設 .....	45
 第7章 長寿命化計画の継続的運用について .....	 46
1 情報基盤の整備と活用 .....	46
2 推進体制 .....	46
3 フォローアップ .....	46

#### 資料 学校施設一覧

- ・小中学校施設一覧
- ・給食施設一覧
- ・高等学校施設一覧

# 第1章 学校施設長寿命化計画策定の背景及び目的

## 1 学校施設長寿命化計画の背景

本市には小中学校の施設が374棟<sup>1</sup>ありますが、全国的な傾向と同様、児童・生徒の急増時期である昭和40年代後半から昭和60年代にかけて整備されたものが多く、令和2年4月1日現在で築年数が30年以上経過している建物数は253棟と全体の約7割を占めている状況です。

これらの小中学校に給食を供給するため、3つの学校給食センター（以下「給食センター」という。）及び5つの学校給食共同調理場<sup>2</sup>（以下「共同調理場」という。）の計8施設を保有しています。規模の大きな3つの給食センターは平成15年以降に改築等を行っていますが、共同調理場はいずれも昭和50年代に整備されており、建物の老朽化が進んでいます。

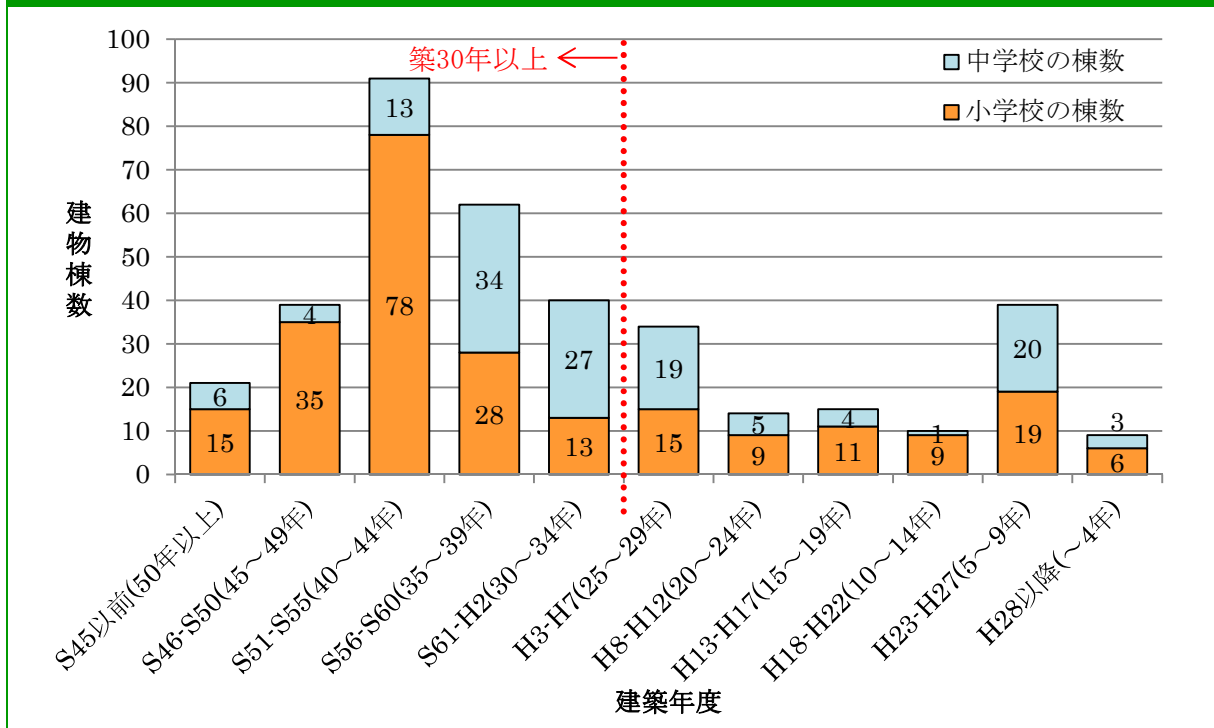
また、本市では県下唯一の市立高校を設置しており、平成20年に、男女共学、単位制、総合学科という新たな基本理念の下、校名を現在の「長野市立長野高等学校」に改めるとともに、校舎全面改築による理想的な教育環境を実現しました。そのため、保有する高校施設11棟<sup>3</sup>については現時点では良好な状況を保っています。

今後、これらの学校施設の老朽化対策に取り組むに当たって、厳しい財政状況の中、できる限り財政負担を抑制しつつ、計画的に適切な改修や改築を行うことにより、児童・生徒の学習環境の改善・維持を図っていかねばなりません。

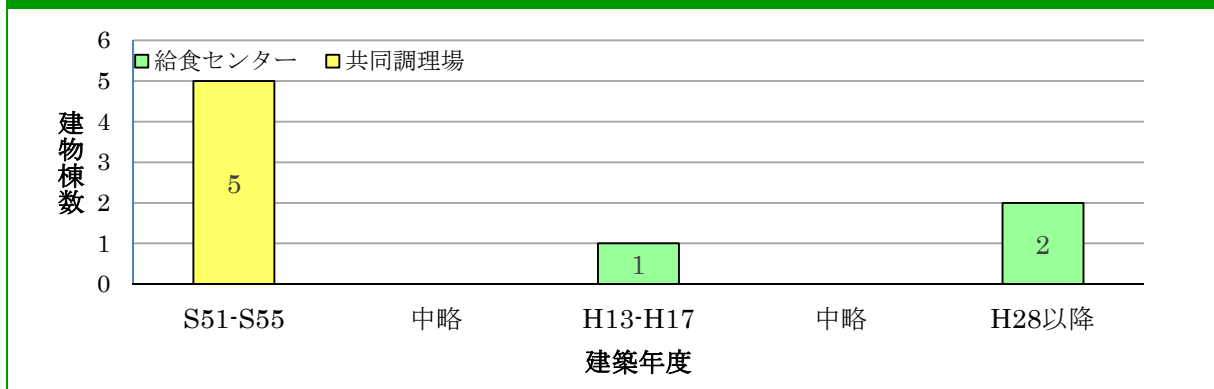
本市では、平成29年3月に公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）を策定し、市内の公共施設全体に関する今後の方向性を定め、適正な施設管理に取り組んでいるところです。この総合管理計画の第6章において、公共施設の総量に対して、改修・更新にかけられる費用に限られることから、今までのようなサイクルでの建替えによる老朽化対策から転換し、施設の長寿命化を図ることによって建替えコストを縮減する方針が定められています。市内の公共施設の約35%を占める学校施設についても、総合管理計画に定める市全体の方向性に基づいて計画的に施設管理に取り組んでいく必要があることから、「学校施設長寿命化計画（以下、「長寿命化計画」という。）」を策定するものです。

- <sup>1</sup> 本計画では、100㎡以上の建物で教室や昇降口を含むものを対象棟として計上しており、渡り廊下や倉庫などは除外しています。また、増築した建物は原則新旧合わせて1棟として計上していますが、既存建物の竣工後10年以上経過してから増築した場合は、改修時期を揃えることが難しいことから別棟扱いとし、それぞれ1棟として計上しています。
- <sup>2</sup> 本計画上の学校給食共同調理場とは、小中学校が1校ずつ存在する地域において、いずれかの学校施設内に整備され、同一地域内の調理場がない方の学校に給食を配送する親子方式を採用しているものを指します。
- <sup>3</sup> 小中学校施設同様、渡り廊下や倉庫などは除外しています。なお、平成29年度に開設した市立長野中学校については、既存の市立長野高校の施設を活用して設置していることから、本計画上市立長野高校の施設として計上します。

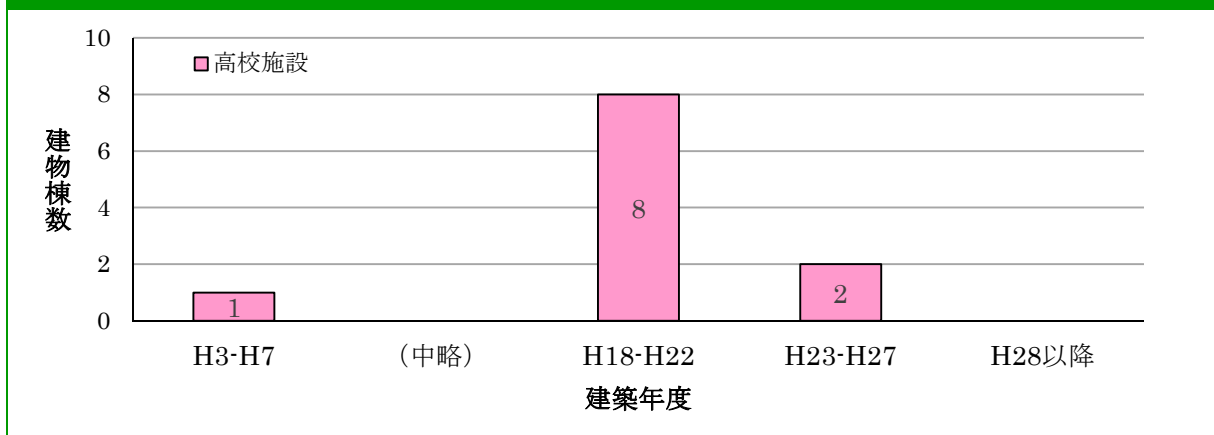
●グラフ1 建築年度別 小中学校建物棟数（令和2年度現在）



●グラフ2 建築年度別 給食施設棟数（令和2年度現在）



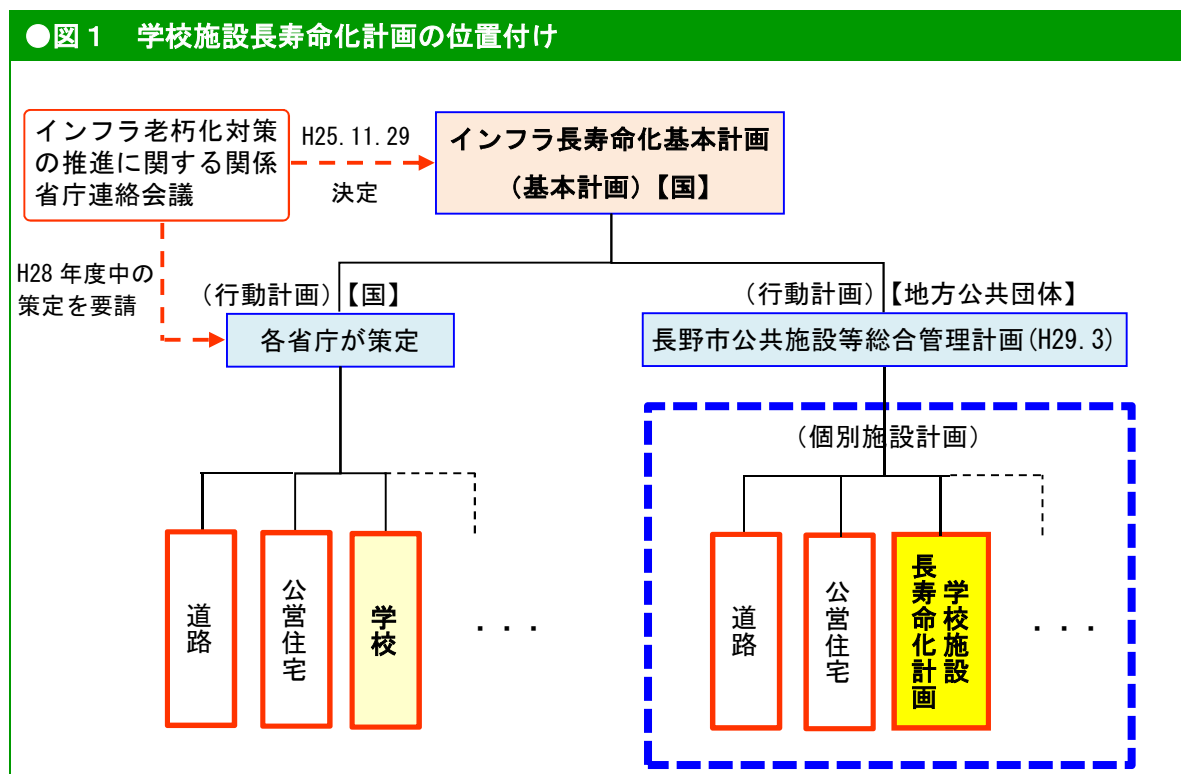
●グラフ3 建築年度別 高校施設棟数（令和2年度現在）



## 2 学校施設長寿命化計画の目的

老朽化の進む学校施設を適切に改修することで、できるだけ長く既存の施設を活用していくとともに、必要に応じた改築や長寿命化改修<sup>4</sup>を通じて施設配置や規模の適正化を図っていきます。これらを計画的に進めることで財政負担の平準化が図られ、「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく<sup>5</sup>」ことにより、安全で安心な学習環境の確保を目指します。

なお、長寿命化計画については、総合管理計画に基づく個別施設計画として位置付け、市内の公共施設全体の方向性に則り適切な施設管理に取り組んでいきます。



<sup>4</sup> 建物の基礎や柱、梁などを残して全て撤去するなどし、施設の全面的なリニューアル及び時代に合わせた機能向上を図ることにより、建物の寿命（改築までの期間）の延長を目指す改修のことを指します。

<sup>5</sup> 総合管理計画第4章に定められた、公共施設マネジメントの基本理念です。

### 3 学校施設長寿命化計画の期間

---

学校施設全体のバランスを考慮しながら計画的に老朽化対策に取り組む必要性がありますが、ある程度中長期的な視点が必要なことから、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とし、事業の進捗状況や学校を取り巻く環境の変化等に応じて柔軟に見直していくこととします。

## 第2章 学校施設の現状と課題

### 1 長寿命化計画の対象施設

長寿命化計画の対象施設を以下に示します。

施設区分	施設数	建物棟数
小学校	54校	238棟
中学校 <sup>6</sup>	25校	136棟
給食センター	3施設	3棟
共同調理場	5施設	5棟 <sup>7</sup>
高等学校	1校	11棟

※施設内訳は別添施設一覧のとおり

<sup>6</sup> 鬼無里中学校については鬼無里小学校と併設のため小学校建物棟数に、市立長野中学校は市立長野高校に併設のため高等学校建物棟数にそれぞれ含みます。

<sup>7</sup> 小中学校施設と同一棟内に整備されていますが、施設区分が異なることから別棟として計上しています。



## 2 児童・生徒数・学級数と施設保有面積の推移

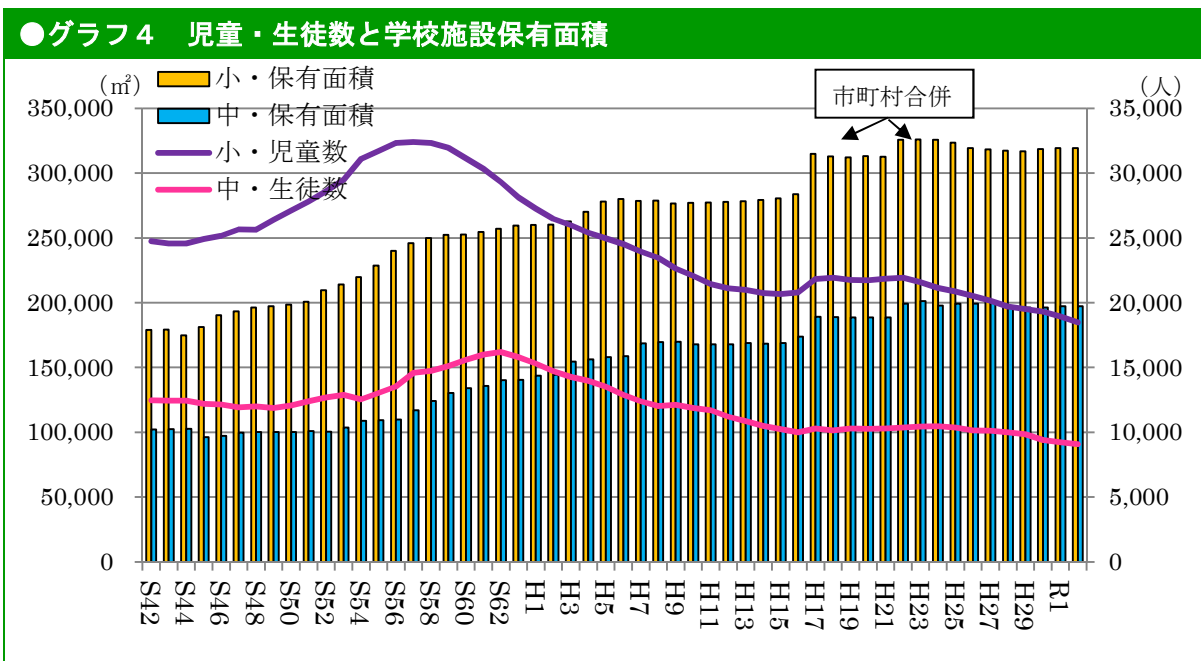
### (1) 小中学校施設

本市では、昭和40年代後半から児童・生徒数が急増し、昭和57年に児童数が32,401人、昭和62年に生徒数が16,206人と過去最多を記録しました。その後は減少を続けており、平成17年度と平成22年度に市町村合併<sup>8</sup>により児童・生徒数は増加しているものの、令和2年現在では児童は18,473人、生徒は9,095人といずれもピーク時の60%に満たない状況となっています。

学校施設の保有面積<sup>9</sup>を見ると、児童・生徒数の増加に合わせて施設整備を進めたことから、小学校では昭和40年代の後半以降、中学校では昭和50年代以降に面積が増加していますが、児童・生徒数が減少を始めた後も面積は平成初期に若干増えています。その後は平成16年度及び平成21年度の市町村合併の影響以外はほぼその規模を維持していることがわかります。

児童・生徒数が減少しているにもかかわらず学校施設の保有面積が減少してきていないことには3つの要因があると考えられます。

一つ目は市内での人口の偏りにより生じていた過大規模校<sup>10</sup>解消のため、小中学校それぞれ2校を平成初期に開設していることです。小学校では3校が、中学校では最大7校が、それぞれ1学校の学級数が31以上である過大規模校となっており、長きにわたり課題となっていました。その解消に向け、平成3年に犀陵中学校、平成4年に緑ヶ丘小学校、平成5年に三本柳小学校、平成7年に広徳中学校を新規開設したことにより、保有面積が伸びています。



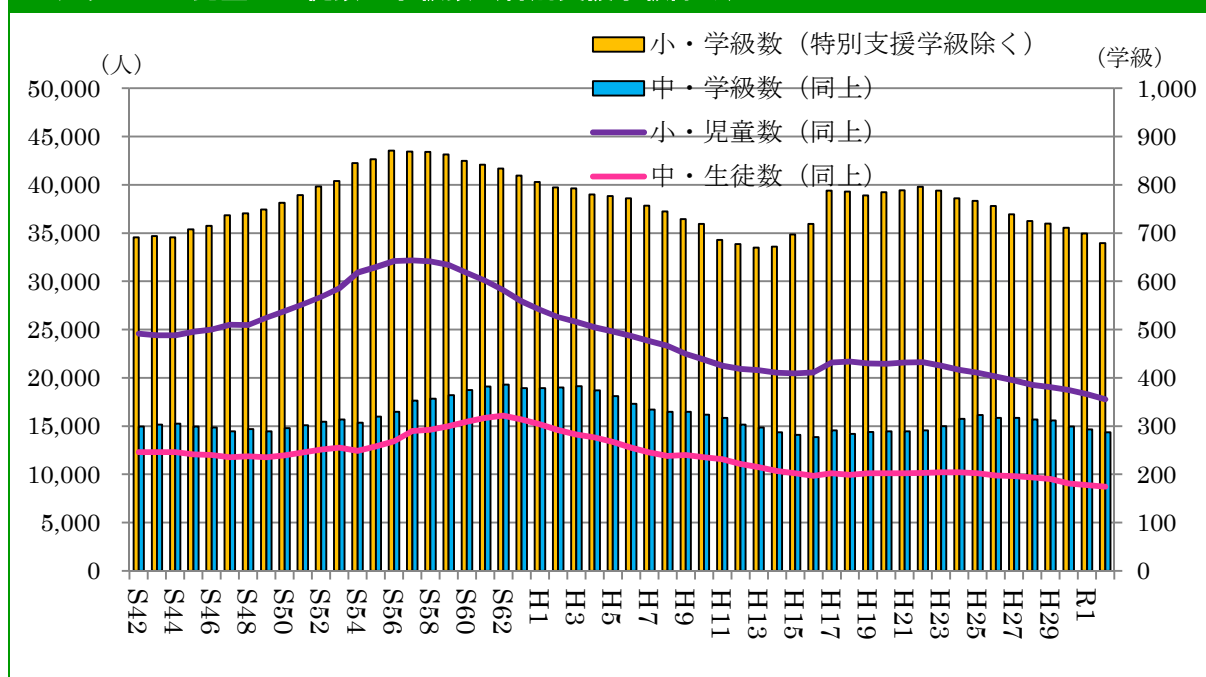
<sup>8</sup> 平成17年1月に豊野町、戸隠村、鬼無里村及び大岡村と、平成22年1月に信州新町及び中条村と合併し、現在豊野には小学校2校と中学校1校、それ以外の地域には小中学校が1つずつ設置されています（鬼無里は小中併設）。

<sup>9</sup> 本計画の対象外となる附属建物等の面積を含んだ、年度ごとの総面積です。

<sup>10</sup> 文部科学省では、小中学校いずれも31学級以上ある学校を過大規模校とし、速やかにその解消を図るよう設置者に促してきています。

二つ目の要因は平成14年度以降、段階的に35人学級を導入したことです。特別支援学級を除いた学級数について、小学校では昭和56年に871学級、中学校では昭和62年に386学級で最多を記録し、その後は児童・生徒数の減少に合わせて減少傾向が続きました。しかし、一人ひとりの理解度や興味・関心を踏まえたきめ細かな学習指導のため、少人数学級編制を推進すべく、1学級の規模をそれまでの40人から35人に減らして学級編制を行うこととし、平成14年度の導入開始から順次対象学年を拡大してきました。その結果学級数があまり減少せず、ピーク時と比較して令和2年度時点では小学校が679学級で約22%、中学校が287学級で約26%の減少にとどまっています。

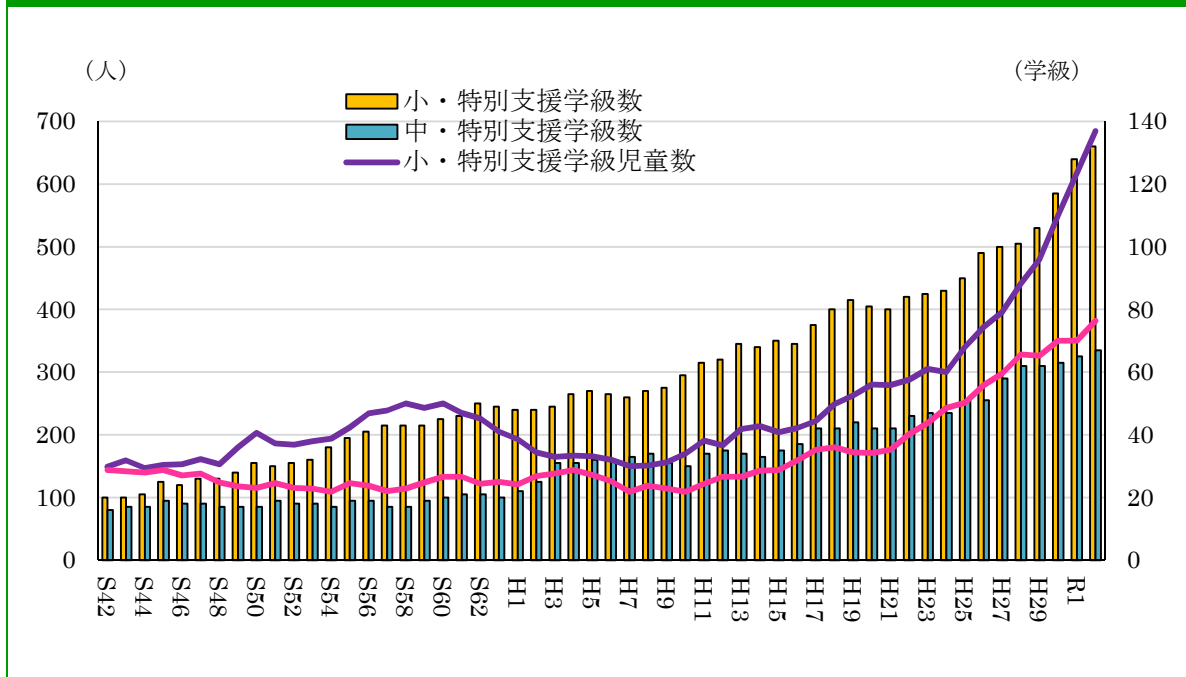
●グラフ5 児童・生徒数と学級数（特別支援学級除く）



また、三つ目の要因として、特別支援学級の増加が挙げられます。かつてはあまり認識されていなかった自閉症や発達障害などへの対応の必要性などから、平成19年度に学校教育法等が改正されたことにより、特別支援教育の推進が法律上明確化され、長野市でもその対応に取り組んできているところです。障害に対してきめ細かな対応をする必要性から、過去に比べてクラス分けも多様化し、学級数が伸びています。また、社会全体で認識が高まり、理解も広がっていることから、児童・生徒総数は減少しているものの、特別支援学級に所属する児童・生徒が増えることで、学級数も増加していると想定されます。

二つ目及び三つ目の要因により学級数があまり減少しておらず、児童・生徒数の減少率から想定されるほどは余剰教室が生まれていない状況です。その結果、校舎を改築した学校においても、保有面積を児童・生徒数の減少率と同等には削減できなかったと考えられます。

●グラフ6 特別支援学級の児童・生徒数と学級数



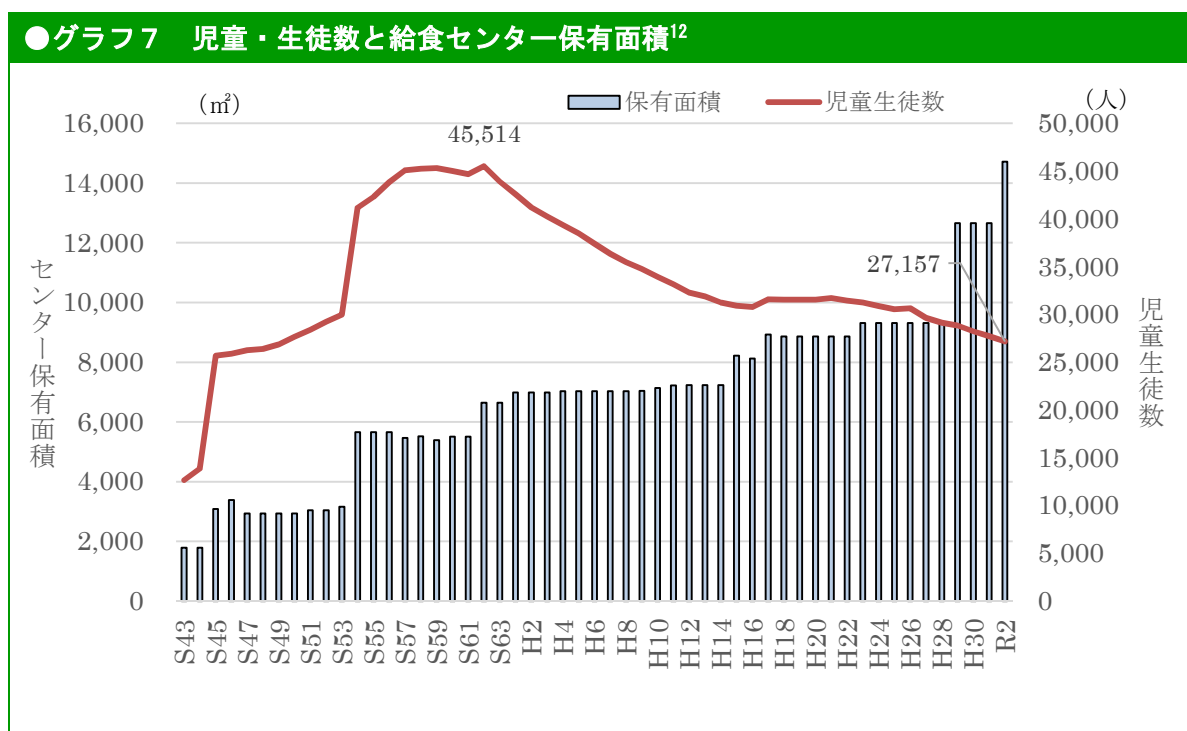
## (2) 給食施設

かつて、小中学校では、児童・生徒等に完全給食<sup>11</sup>を提供するために、各学校内の調理場にて給食を提供する自校給食を行っていました。昭和41年度に長野市初の給食センターの運用を開始し、当初は小学校6校、中学校6校に配送を行いました。その後、給食センターの整備を進め、昭和45年度に第二給食センター、昭和54年1月に第三給食センターの運用を開始しましたが、中山間地を中心に一部の学校では自校給食を実施していました。

昭和62年度に、老朽化が進み、また手狭となったことから第一給食センターを移転新築し運用が開始され、市内全域の小中学校に給食センターから給食を提供する体制が整いました。それに伴い、自校給食だった学校もセンター方式での給食に切り替わりました。

市内全域（当時）でセンター方式が実現した昭和末期から、児童・生徒数は減少傾向に転じ、過去最多であった昭和62年度の45,514人と比較すると、令和2年度は27,157人と40%以上減少しています。しかしながら、施設の保有面積は増加傾向にあり、これには3つの理由が挙げられます。

一つ目は、厨房機器設備の大型化です。給食センター整備の初期はまだ大型の厨房機器設備が普及しておらず、その対応として調理員を多く配置してきましたが、人的労力の軽減や効率化を図るため、改築等の際に大型の厨房機器設備の導入を進めてきた結果、施設の面積が増加してきたものです。



<sup>11</sup> 児童・生徒が朝から午後まで登校する日に、基本的に主食、おかずと牛乳が揃って給食として配られることを指します。

<sup>12</sup> 児童・生徒数は、自校給食及び共同調理場からの配食対象の児童・生徒数を除きます。また、給食センターは整備完了年度と給食開始年度が同一とは限らないことから、このグラフでは当該年度4月の時点で運用していた給食センターの面積としています。

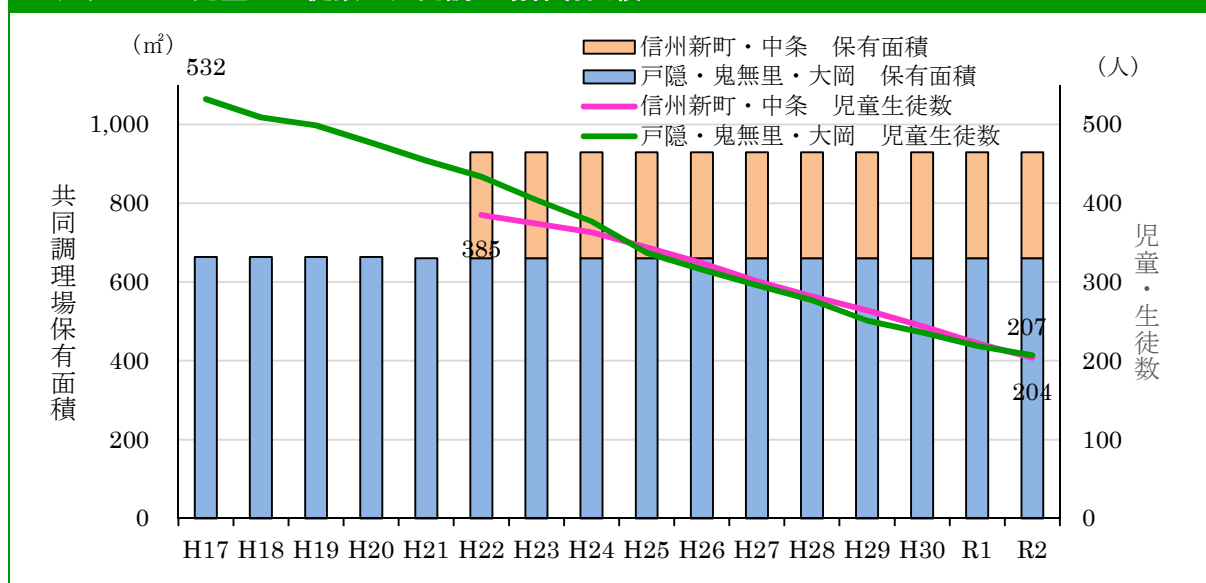
二つ目は、衛生管理基準の強化です。近年は、食の安全に関する意識の高まりを受け、平成21年度には学校給食衛生管理基準が改正されました。改正後の基準では、食品汚染防止のために作業区域を細かく区画する設計が求められるようになり、結果として必要な面積が増加しているものです。

三つ目に、食物アレルギーへの対応が挙げられます。食物アレルギーは、生命に関わることから、対応食の提供においては、きめ細やかな対応が求められています。そのため食物アレルギー対応食を提供するに当たり、一般の調理場とは別にきちんと区画されたアレルギー専用調理室を設ける必要があり、必要面積が増加しています。

また、共同調理場については、平成16年度に合併した戸隠・鬼無里・大岡地区と平成21年度に合併した信州新町・中条地区にそれぞれ存在しており、昭和50年代の整備以降、保有面積についてはほぼ変動がありません。

しかしながら、戸隠・鬼無里・大岡地区の児童・生徒数は市町村合併後の15年間で61%以上、信州新町・中条地区の児童・生徒数も合併後の10年間で47%以上減少しており、施設のあり方について検討を重ねていく必要があります。

●グラフ8 児童・生徒数と共同調理場保有面積

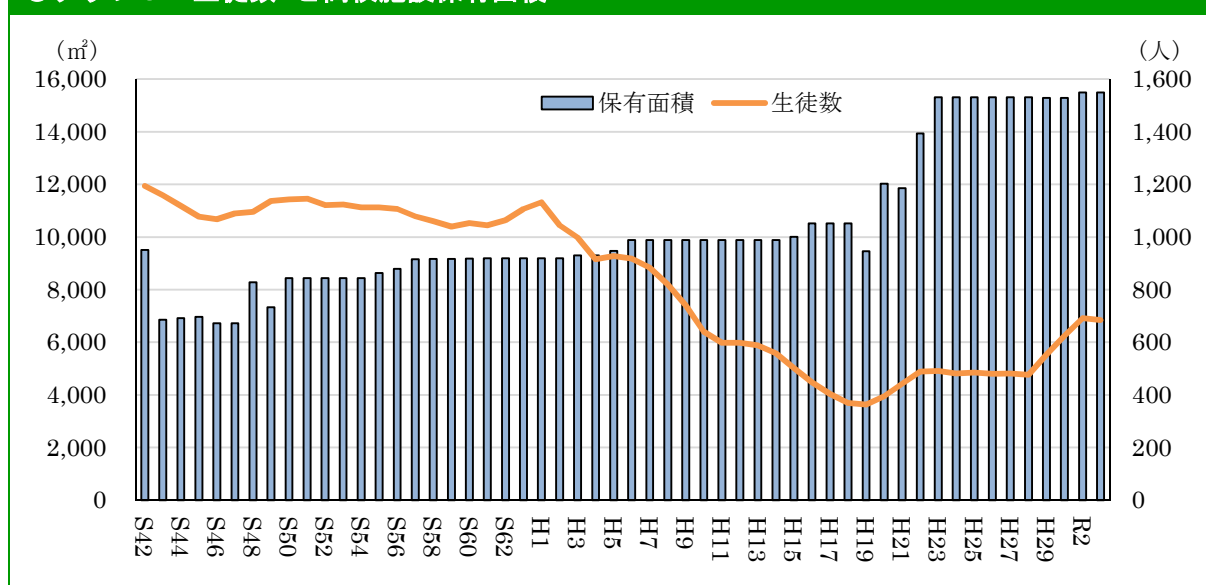


### (3) 高等学校施設

市立長野高等学校は、平成16年8月に公表した「市立高等学校改革モデルプラン」により、単位制総合学科で1学年160人規模の学校とすることとしました。また、生徒一人ひとりの進路希望に沿った授業が選択できるよう、少人数授業へも対応できる教室の配置等を考慮して校舎配置や規模が計画されました。

その後、少子化の進展に伴う生徒数減少など学校を取り巻く環境の変化に対応するため、平成25年に「長野市立長野高等学校あり方検討委員会」で協議を重ねた結果、中高一貫教育実施に関する提言があり、市立長野中学校を併設することとなりました。市立長野中学校設置に当たっては、既存校舎内の改修で対応し、校舎の新築は行わないことを基本的な考え方としました。ただし、既存校舎の改修工事では、中学校施設として不足する部分が生じるため、給食用コンテナ室、自転車置場を学校敷地内に設置しました。

●グラフ9 生徒数<sup>13</sup>と高校施設保有面積



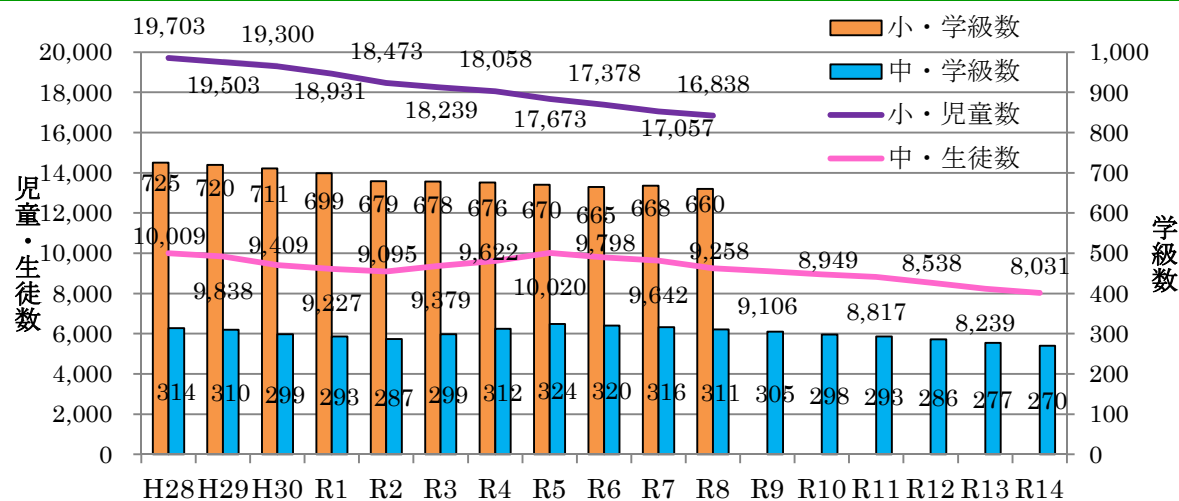
<sup>13</sup> 平成29年度に既存建物を活用し、高校との一貫教育を行う市立長野中学校を開校しているため、平成29年度以降は中学校の生徒数を含めています。

### 3 児童・生徒数の将来推計値

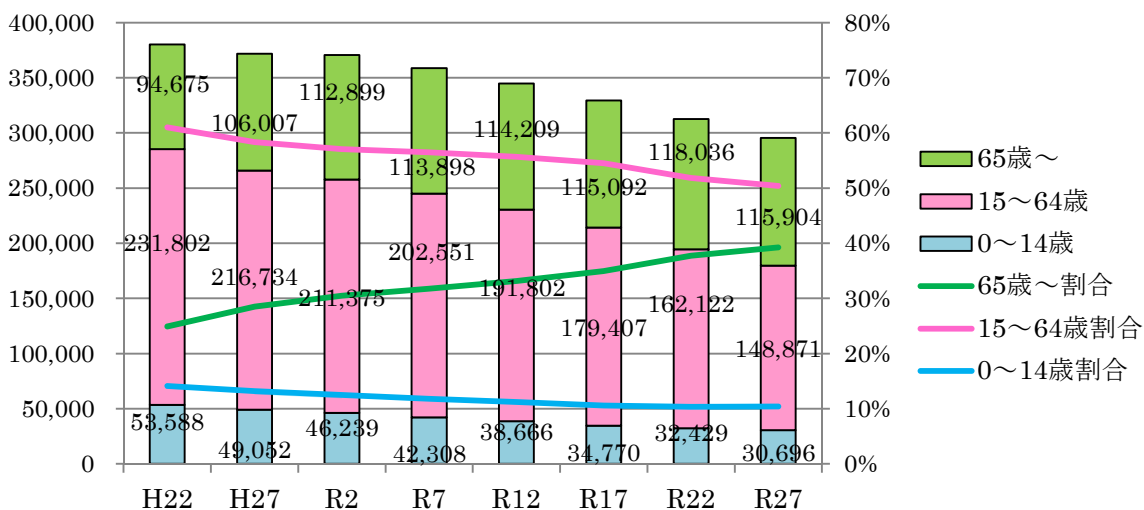
本市の児童・生徒数及び学級数の推計（グラフ10）を見ると、これまでの推移と同様、今後も減少傾向が続くことがわかります。児童数は令和2年度からの今後6年間で約9%、生徒数は12年間で約12%減少しますが、学級数は小学校で約3%、中学校で約6%の減少と、児童・生徒数ほどは減少しない見込みです。しかし、将来推計人口のグラフ11を見ると、今後20年以上先まで、14歳以下の年少人口は減少傾向が続くと予想されており、学級数も減少していくことが想定されます。それに伴い、各学校及び給食施設の施設保有面積を見直す必要があります。

高等学校については、当面現在の定員数を維持する予定ですが、年少人口の減少傾向を踏まえると、将来的には定員数を見直すことも想定され、施設保有面積についても今後は大変にならないように検討していく必要があります。

●グラフ10 児童・生徒数・学級数の将来推計（学級数については特別支援学級除く）



●グラフ11 将来推計人口



## 4 学校施設の整備状況

### (1) 小中学校施設

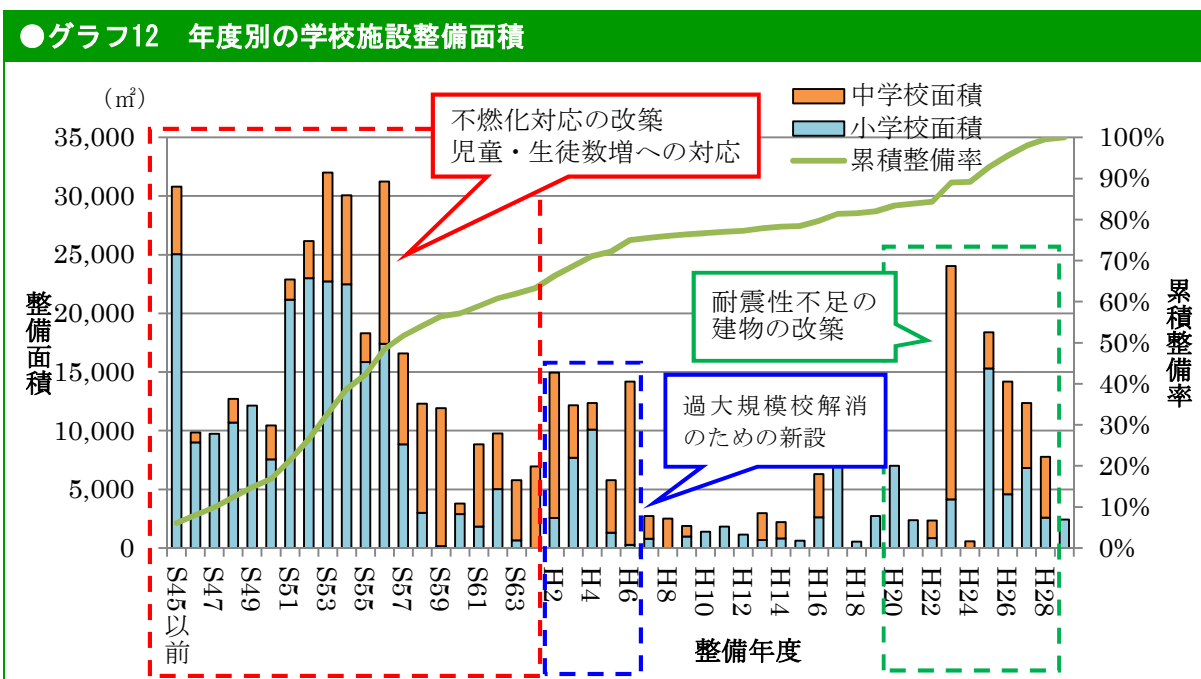
本市の小中学校施設の、年度別整備面積をまとめたものがグラフ12です。このグラフからは、本市の学校施設整備には大きな山が3つあることが見て取れます。

1つ目が、最も大きな平成元年以前の山です。このグループは全体の約63%を占めていますが、これはこの時期にそれまで木造だった施設の不燃化のための改築を進めていたこと、また第2次ベビーブームの世代が義務教育を受けた時期であったことから整備量が多かったものです。建築から30年以上経過しており、老朽化が進んでいることが容易に推測できます。

2つ目の山が、市内に長く存在した過大規模校を解消するために新設校を整備した平成2年から平成6年のもので、全体の11%強を占めています。4校を新設したため、開校前年にそれぞれ大きく整備面積が増加していることがわかります。この新設校についても、開設から既に25年以上経過しており、老朽化が進みつつある状況です。

最後の山が、耐震性能の不足による改築です。児童・生徒が集まる教育の場であり、有事の際避難所となりうる学校施設の耐震性の確保を、本市の最重要課題のひとつとして近年は取り組んできました。そのため、平成20年度以降、平成28年度まで耐震性が大きく不足する建物の改築を進めたことにより、年間の施設整備面積が多かった状況であることをこの山が表しており、全体の17%強を占めています。そして、この整備に力を入れてきた結果、本市では1つ目の山の老朽化対策にはなかなか手が回らず、老朽化が進行している状況です。ただし、耐震性がなく耐震補強を行った建物については、老朽化対策も同時に実施して当面改修不要なものもあり、それらは1つ目の山の中に含まれています。

小中学校施設は、全体の約75%を占める、1つ目の山と2つ目の山を合わせた築25年以上の建物を中心に、老朽化対策をいかに進めていくかが課題となっています。



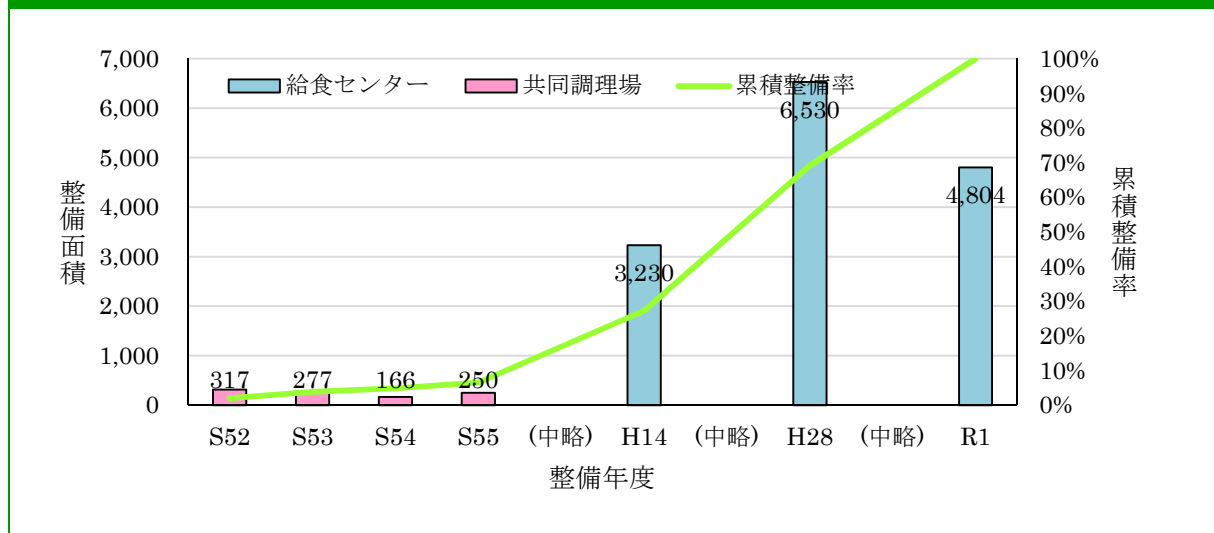


## (2) 給食施設

本市に現存する給食施設の年度別整備面積をまとめたものがグラフ13です。給食センターについては既存施設の老朽化を受け、第二給食センターを平成14年度に、第一給食センターを令和元年度に改築するとともに、第三給食センターの代替施設として第四給食センターを平成28年度に新設し、良好な状態を保っています。

一方、平成17年及び平成22年に合併した地域において、小中学校に併設されている5か所の共同調理場については、いずれも昭和50年代前半に整備されたものです。厨房機器等の設備に関しては更新等を行っているものの、建物自体の老朽化が懸念される状況です。共同調理場の建物自体は校舎等と一体で整備されていることから、当該校舎等と同時に改修することとなります。

●グラフ13 年度別の給食施設整備面積

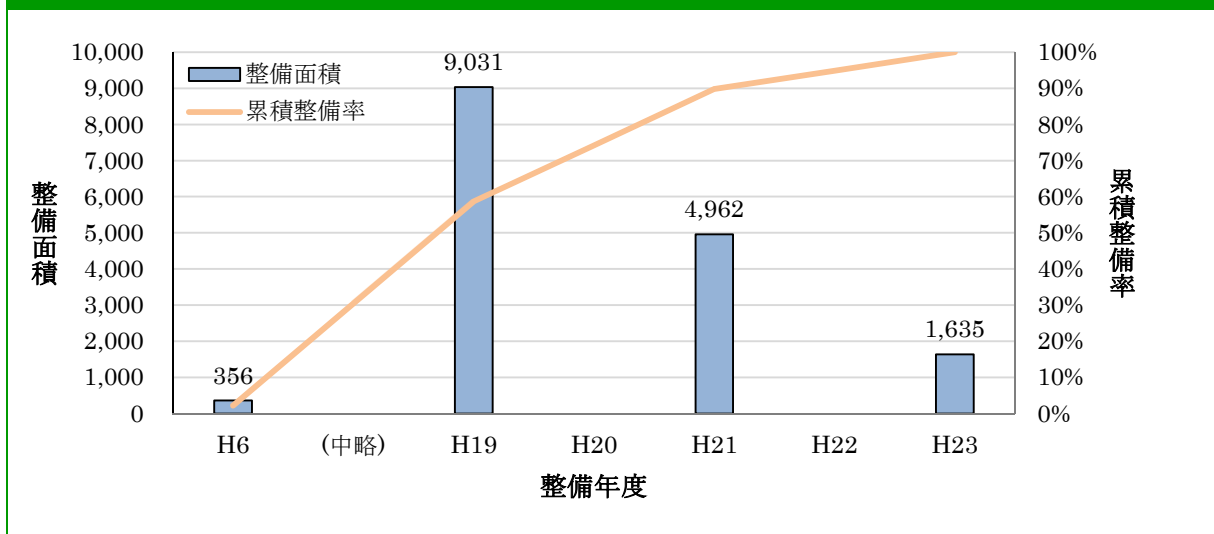


### (3) 高等学校施設

本市の高校施設の年度別整備面積をまとめたものがグラフ14です。平成20年に、男女共学、単位制、総合学科を導入し、同時に校名を現在の「長野市立長野高等学校」に改めることとなり、施設についても新たな理念に基づく理想的な教育環境を整備すべく、平成19年度以降に校舎などの施設を全面的に改築しており、良好な状態を保っています。

今後は、校内ほとんどの施設が一斉に改修・更新時期を迎えるものの、全てを同時期に行うことは困難なことから、棟ごとに順序立てて工事を計画していく必要があります。

●グラフ14 年度別の高校施設整備面積



## 5 各施設の維持更新費用の推移

---

### (1) 小中学校施設

過去15年間の小中学校施設に係る維持更新費用は、総額で662億円強であり、そのうち増改築費が約61億7,200万円（9.3%）、耐震性不足による改築費が約319億8,700万円（48.3%）、耐震補強費が約111億1,900万円（16.8%）、維持改修費が約78億5,400万円（11.9%）、災害復旧費が約1億4,500万円（0.2%）、維持管理のための業務委託費が約11億9,900万円（1.8%）、光熱水費が約78億200万円（11.8%）となっています。内訳からわかるとおり、耐震化のための工事費が全体の7割近くを占めており、耐震化に注力してきたことが数字からよくわかります。

なお、業務委託費及び光熱水費は毎年ほぼ一定ですが、平成28年度にPCB廃棄物を一括廃棄したため、業務委託費が例年の3倍近くとなっています。維持改修費については、平成30年の猛暑を受け、普通教室への冷房設備の整備を進めたことにより、令和元年度は過去の平均の5倍強と突出しています。

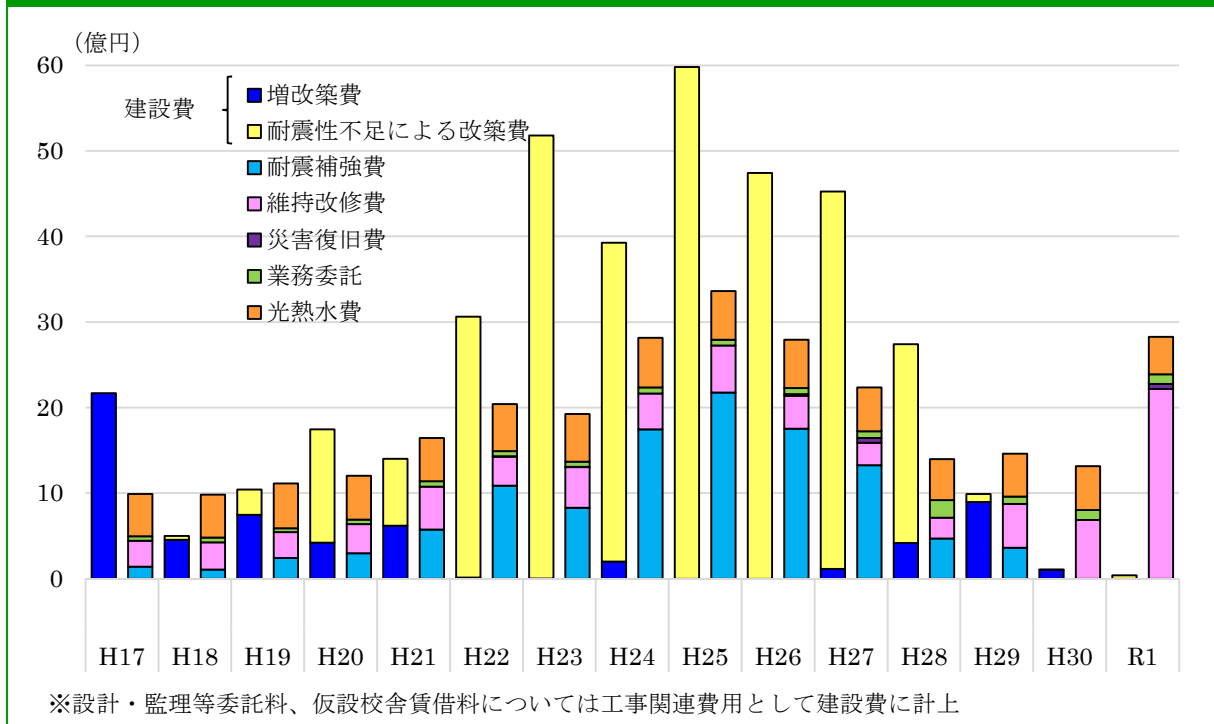
また、この15年間の工事費の推移については、平成22年度以降急激に増加し、平成25年度以降は減少傾向にあります。平成22年度から平成25年度までの4年間の耐震化関連工事費のみで、この15年間の工事関連費用総額の約41%を占めています。これは、この時期に耐震化の推進に集中して取り組んできたことを示しており、実際に建物の構造体の耐震化が完了していない建物は平成28年度には残り1棟となっており、令和2年度末に構造体の耐震化が完了します。

この期間における学校施設の増改築64棟のうち、75%の48棟が耐震性確保のための改築であり、老朽化した建物の更新もある程度進みました。また、それまで老朽化した校舎の改修工事は維持改修費の中で対応していましたが、71棟の建物においては耐震補強・耐震改修工事と同時に老朽化対策工事も実施してきました。

しかし、耐震化対策に集中して投資したため、耐震性のある建物の老朽化対策にはなかなか手が回らなかった期間であるとも考えられます。

そして、今後の財政状況は厳しい見通しであることから、耐震化の推進に投資した時期と同等の予算執行は困難と予想されます。

●グラフ15 小中学校施設に係る維持更新費用

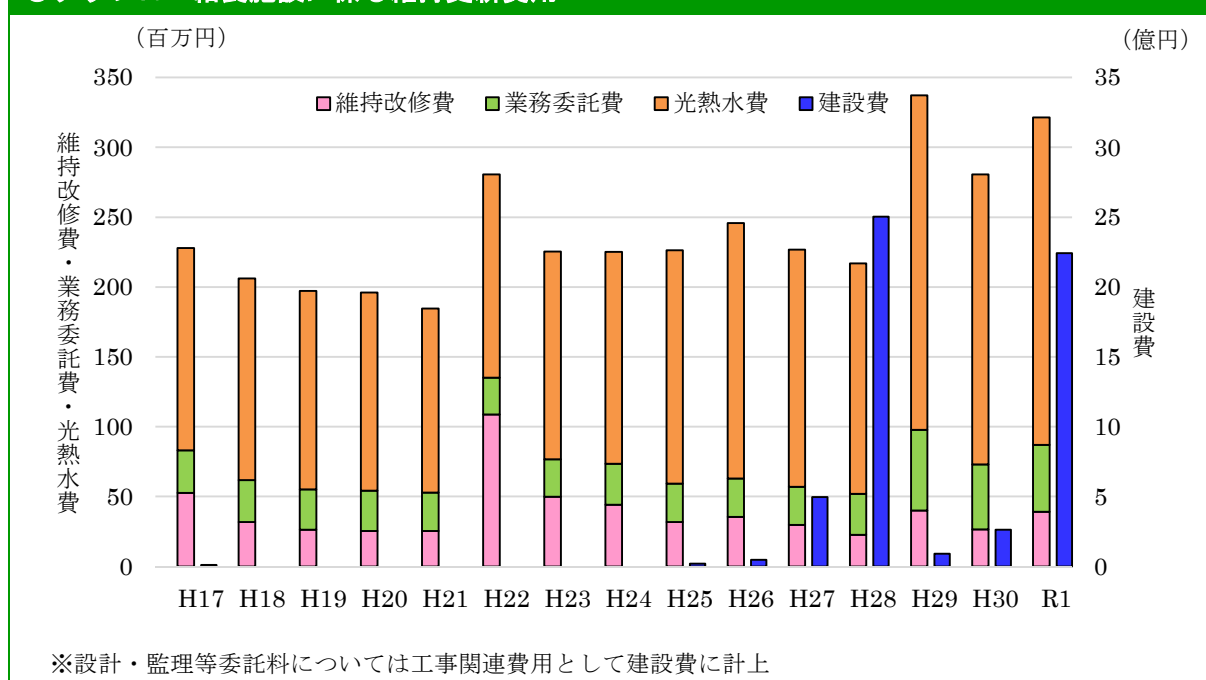


## (2) 給食施設

給食施設については、過去15年間の維持更新費用総額が約92億7,200万円となっており、うち維持改修費が約5億9,000万円(6.4%)、建設費が約56億7,400万円(61.2%)となっています。維持改修費は、毎年2,500万円から5,000万円程度で推移していますが、平成22年度は大規模老朽改修が多かったために金額が伸びています。建設費は、ほとんどが第一・第四給食センターの建設に伴うもので、給食センターについては施設整備がひと段落したことで、今後は当面、建設費用は発生しない見込みです。

なお、給食施設においては、給食を大量に調理することから、学校施設と比較すると光熱水費の割合が高く、約25億1,700万円(27.2%)を占めています。省エネ対応設備を導入することで維持管理経費の節減につながりやすい施設のため、実際に給食センター建設の際には省エネに考慮した施設整備を進めています。

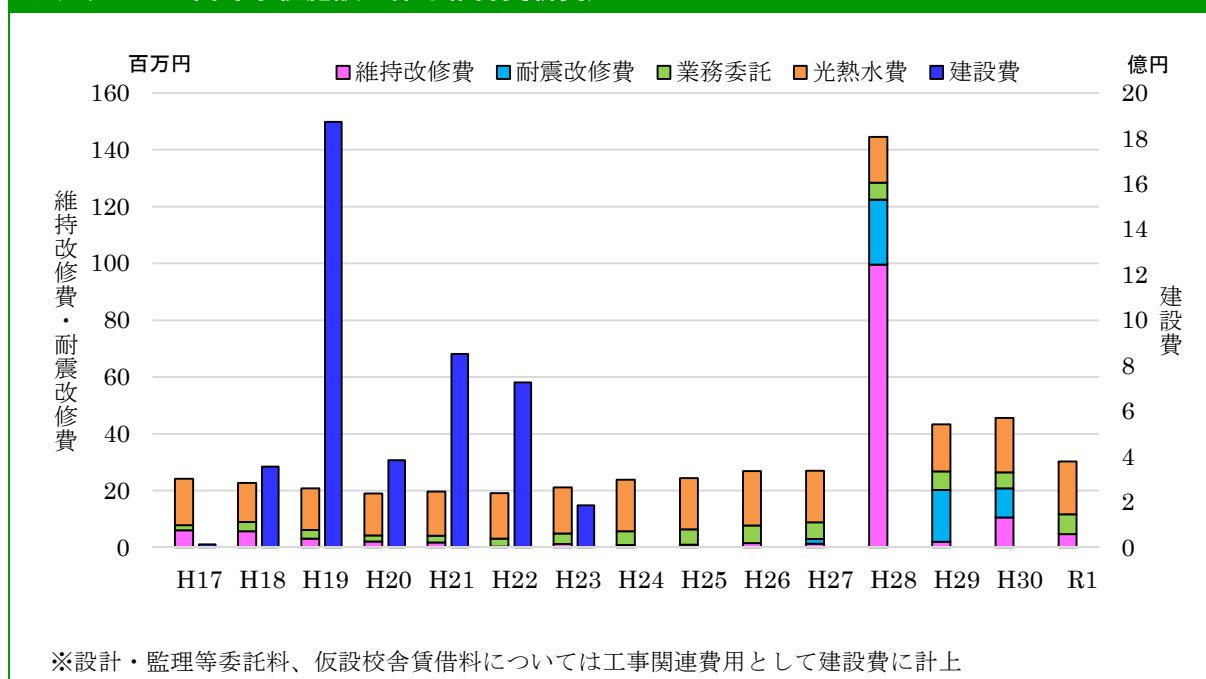
●グラフ16 給食施設に係る維持更新費用



### (3) 高等学校施設

高等学校施設については、平成20年度の教育内容等の一新を受けて全面改築を進めたことにより、過去15年間で建設費が約43億8,900万円となっており、施設維持更新費用総額の89.5%を占めています。維持改修費については、約1億4,200万円(2.9%)となっていますが、全面改築前後を比較すると改築前は毎年500万円程度だったものが、改築後の平成20年度以降は平成28年度を除くと約250万円程度と約半分に抑えられています。改築前は、老朽化により維持改修費が多く必要だったことがこのグラフからわかります。なお、平成28年度は維持改修費が大幅に伸びていますが、既存校舎を活用して市立長野中学校を開校するに当たり、その改修費用として約9,800万円かかっており、維持改修費全体の約69.1%を占めています。また、平成27年度以降、耐震基準の厳格化に対応するため、基準に適合しない特定天井の改修を進めたことにより、約5,300万円(1.1%)の耐震改修費を計上していますが、これにより高等学校施設の耐震対策は完了しています。

●グラフ17 高等学校施設に係る維持更新費用

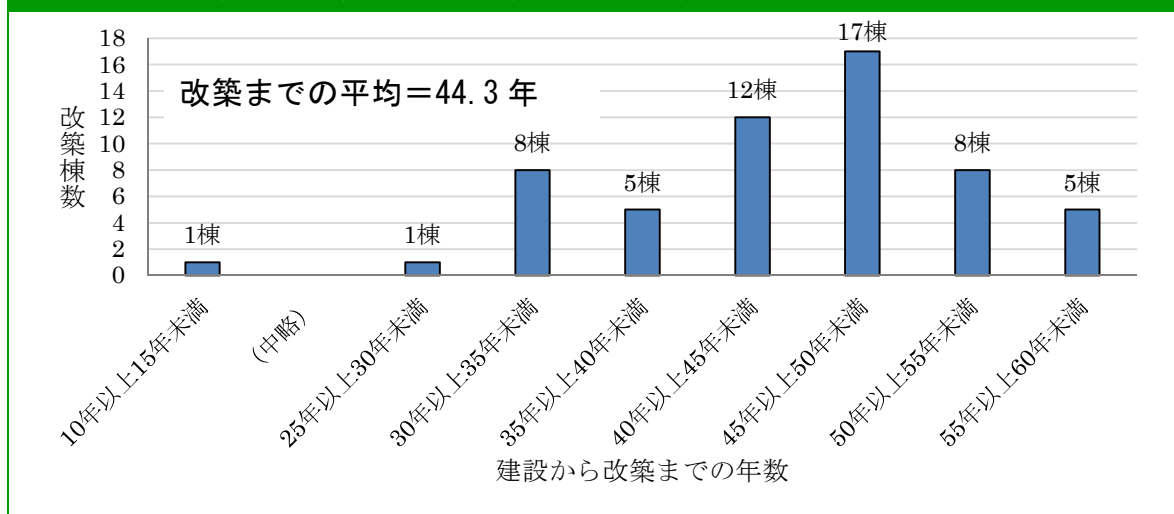


## 6 これまでの小中学校施設の更新周期

本市の小中学校施設では、劣化・損傷した部分の部分補修・修繕を繰り返しながら、老朽化が進んだところで改築を行っており、平成18年度から平成28年度の間には改築した建物57棟においては、建設してから最短で11年（ただし、軽量鉄骨造で一時的な使用のために建設したものの）、最長で59年にて解体しています。また築45年以上50年未満で解体している例が多く、全体では平均44.3年で解体に至っています（グラフ18）。

しかしながら、老朽化対策になかなか手が回らなかった結果、建設から40年以上経過している建物が374棟中151棟と4割を超えており、45年以上経過しているものも60棟で15%を超えていることから、これまでの解体までの平均年数では改築を進めることは困難なことが想定されます。

●グラフ18 建設から改築までの年数と解体建物数



## 7 各施設の維持更新費用推計

現在保有する施設について、これまでどおり老朽化した部分の補修・修繕を行いながら、改築していきくと仮定した際に、維持更新費用がどの程度必要となるのか推計しました。

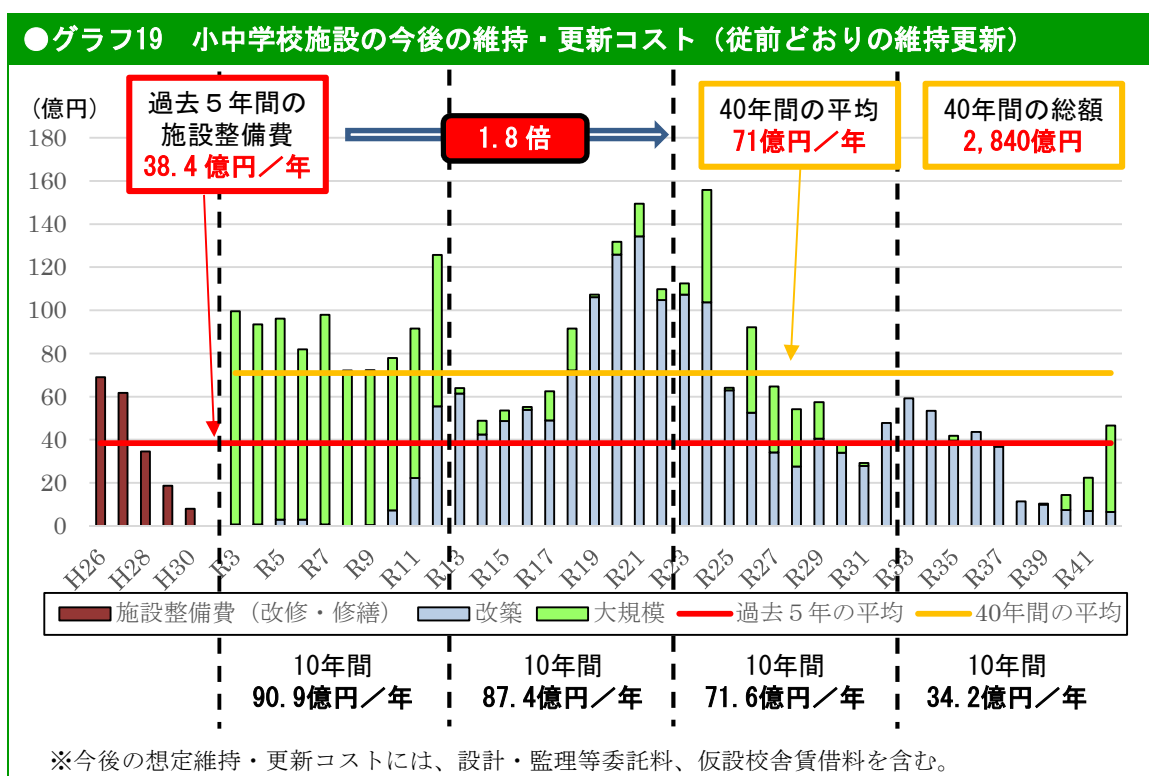
推計における前提条件は以下のとおりです。

- ・既に50年を経過している建物も増えてきていることから、60年で改築し、その半分の30年で全面的に老朽化改修を実施
- ・単価は、長野市の過去の実績に基づいて設定
- ・改築の費用は2年間均等に分割して計上
- ・令和2年度時点で建築から31年以上50年以下の建物については、今後10年間で均等に大規模改造を実施（費用を10年間で均等に分割して計上）
- ・令和2年度時点で建築から60年以上の建物については、今後5年間で均等に改築を実施（費用を5年間で均等に分割して計上）

### (1) 小中学校施設

今後40年間で約2,840億円（約71億円／年）かかると見込まれます。特に、令和3年度からの10年間は、年間約91億円かかると想定されます。

過去に耐震対策のために集中投資を行った期間を含む過去15年の維持更新費用平均で約44億円、耐震対策の集中した平成22年度から平成25年度を除いた期間では約35億円であり、約71億円もの額を毎年確保していくことは不可能と言えることから、従前どおりの維持更新を見直す必要があります。

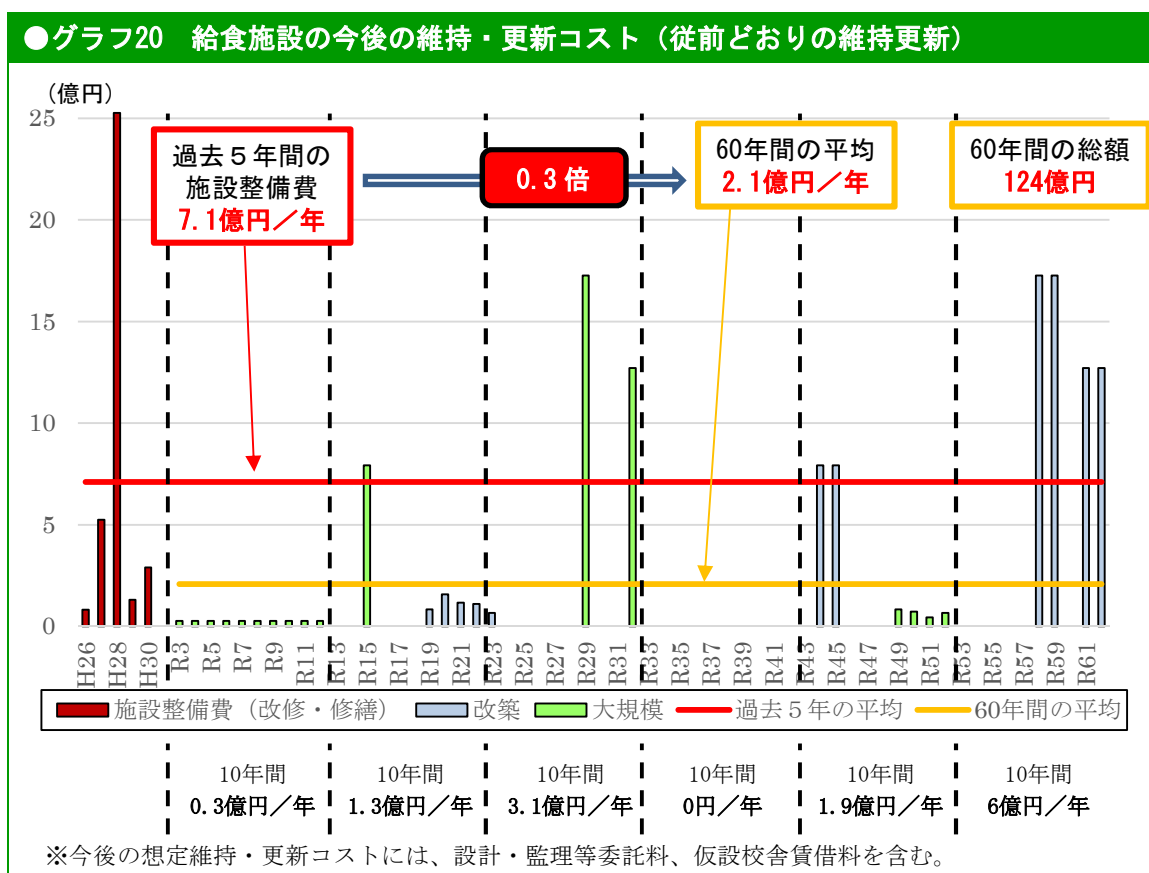




## (2) 給食施設

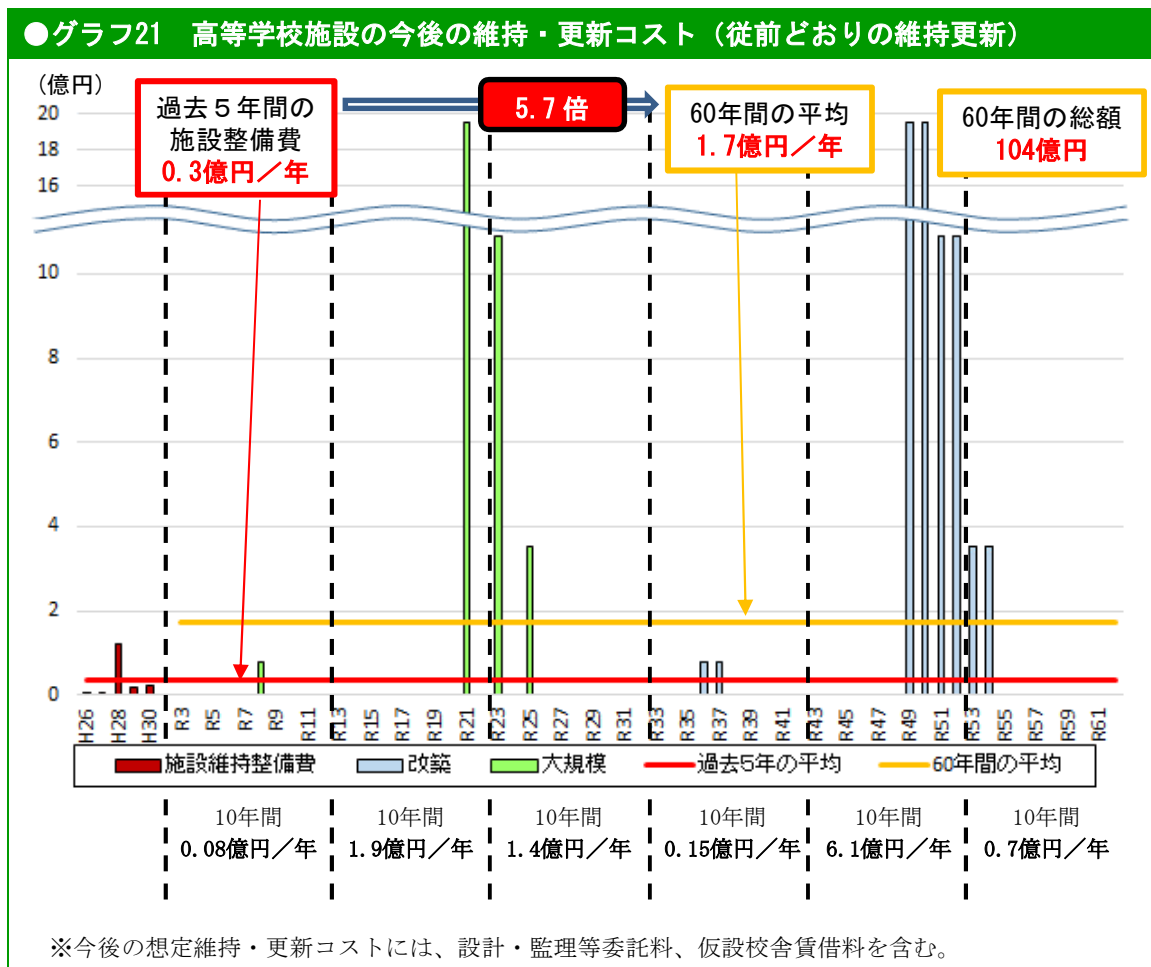
給食施設は第四及び第一給食センターをそれぞれ平成28年度と令和元年度に新改築していることから、それらの次回の改築を含めて考慮するため60年間のコストを見込んでいます。今後40年間では約46億円（約1.1億円／年）の支出となる見込みですが、令和43年以降の20年間に全ての給食センターが建替え時期を迎えるため、60年では約124億円（約2.1億円／年）と支出額が大きくなります。当面は大きな支出は見込まれませんが、計画的な改修により支出を平準化することが望ましい状況です。

この試算においては、共同調理場も60年を目安として改築の試算をしていますが、実際には、併設する学校施設の改修・改築に併せ検討が必要です。



### (3) 高等学校施設

高等学校施設は、主要な建物が平成19年以降に改築されており、次回の改築を考慮するため今後60年間のコストを見込んでいます。今後40年間の維持・更新コストは約36億円（約9,000万円／年）ですが、令和49年以降に改築時期を迎えるため、60年では約104億円（約1.7億円／年）の支出が見込まれます。全面改築から10年少々であり、それ以降の維持管理費はそこまで多くかかってはいない状況ですが、令和49年以降の改築時期には、6年間で約68億円と全体の65%もの支出が想定され、支出の平準化を検討する必要があります。



## 第3章 学校施設の老朽化状況評価

### 1 学校施設の老朽化状況の把握

長野市の学校施設については、前章にて述べたとおり、築25年以上の建物が全体の約7割を占めているものの、構造躯体<sup>14</sup>の耐震化に集中的に投資し、その工事の中で同時に老朽改修も行ってきたことから、耐震性のある建物について特に老朽化が進んでいることが容易に想定されます。しかし、児童・生徒数が多い場合は劣化が進みやすい部位があるなど、老朽化が進展する要素は多様であり、経過年数だけでは老朽化状況を一概に評価することができません。

そこで、構造躯体の健全性と構造躯体以外の健全性の2つの観点から、老朽化状況を客観的に評価することとし、その結果を今後の施設の維持管理に反映します。

また、実際に長寿命化改修を進める際には、対象となる建物が今後の継続使用に耐えられるのかどうか（耐力度があるかどうか）、詳細な調査を実施します。

<sup>14</sup> 構造設計、構造計算の主な対象となる基礎・柱・床などの構造体を指し、屋根の鋼板や床・壁・天井の木材などの仕上げ材を除きます。

## 2 構造躯体の健全性

---

学校施設は、児童・生徒が生活する場であり、かつ災害時には避難所としての機能を発揮する必要性から、建築基準法に基づく昭和56年の「新耐震基準<sup>15</sup>」導入以前に建築された一定規模以上の建物については、全て耐震診断<sup>16</sup>を実施しています。

その中でも、鉄筋コンクリート造の建物については、耐震診断の中で躯体に使用されているコンクリートの圧縮強度試験を行っています。日本建築防災協会の耐震診断基準<sup>17</sup>において、鉄筋コンクリート造の建物の最低圧縮強度を $13.5\text{N/mm}^2$ とし、それを下回る建物は耐震補強に適さないとしています。そこで、耐震診断時の圧縮強度試験で $13.5\text{N/mm}^2$ を下回っているものは、構造躯体の健全性に乏しいと判断し、長寿命化改修には適さないものとして改築を検討することとします。

---

<sup>15</sup> 建築基準法において、大規模の地震動で倒壊・崩壊しないための耐震性能を持つように建物を設計するために定められている基準で、一般的に昭和56年に導入されたものを新耐震基準、その前に定められていた基準を旧耐震基準と呼んでいます。

<sup>16</sup> 建物の構造等から、その建物が地震に対してどの程度の強度を持つのかを計算し、数値化する調査を指します。

<sup>17</sup> 一般財団法人日本建築防災協会「2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」

### 3 構造躯体以外の健全性


200㎡以上の学校施設については、建築基準法第12条に定める3年に1度の建築物点検を行っていることから、この点検に併せて、建築士などの専門資格保有者による構造躯体以外の劣化状況調査を行いました。

劣化状況調査では、以下に示すとおり、屋根や外壁といった外部についての目視による評価と、内部仕上げや電気・機械設備についての経過年数による評価を行い、健全度合いを確認しています。


●図表1 構造躯体以外の劣化状況調査

#### 1 評価基準

##### 目視による評価【屋根・外壁】

	評価	基準
 良好       劣化	A	おおむね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

##### 経過年数による評価【内部仕上等】

	評価	基準
 良好       劣化	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

#### 2 健全度の算定

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

健全度計算式 （部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省、P. 26）

## 4 耐力度調査の実施

長寿命化改修の実施対象となる建物に際しては、長寿命化改修に耐えうる状況であるかどうかを精査するため、改修前に耐力度調査<sup>18</sup>を実施します。

耐力度調査の結果、耐力度が次の表の点数以下となった建物については、老朽化の進行により長寿命化に適さないものと判断し、長寿命化改修の実施ではなく改築するものとします。

なお、耐力度の点数が次の表の点数を超えるものであった場合も、鉄筋の腐食やコンクリートの中酸化が進行している場合は、長寿命化に適さないものとして、大規模改修の実施に切り替え、当面の間は活用できるようにします。

表：耐力度調査結果により改築と判断する基準

建物の構造	調査結果（10,000点満点中）
木造	5,500点以下（※6,000点以下）
鉄筋コンクリート造、鉄骨造、補強コンクリートブロック造等	4,500点以下（※5,000点以下）

※昭和45年以前に建設した建物については、それぞれ500点緩和し、6,000点以下又は5,000点以下で改築と判断します。

<sup>18</sup> 公立学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するものです。調査の結果、所要の耐力度点数に達しないものについては、老朽化した公立学校施設を建て替える事業の対象となります。

（引用：文部科学省 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1388413.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1388413.htm)）

## 第4章 学校施設整備の基本的な考え方

### 1 総合管理計画との整合性

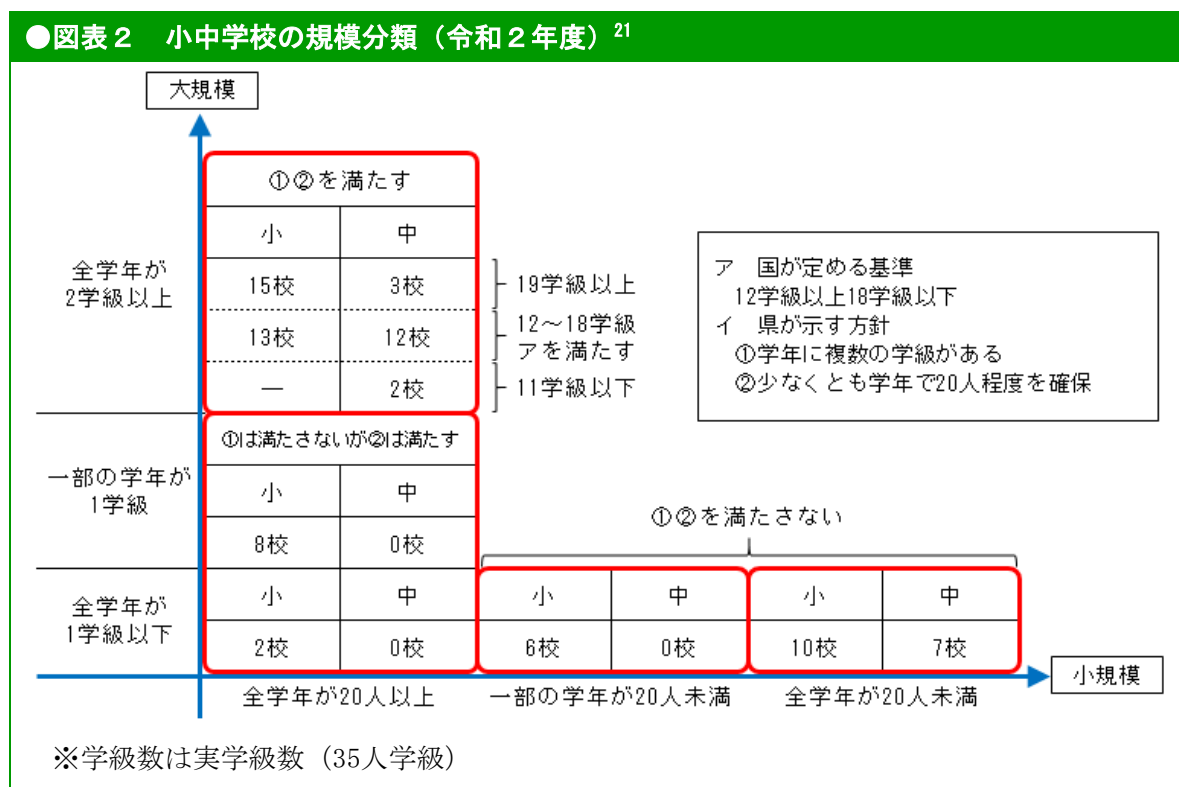
総合管理計画では、「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」という基本理念に基づき、4つの基本方針を定めています。長寿命化計画においても、その4つの基本方針に沿って今後の施設整備を進めていくこととします。

総合管理計画	長寿命化計画
<b>【基本方針1】 施設総量の縮減と適正配置の実現</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>施設総量の縮減</u></li> <li>(2) <u>新規整備の抑制</u></li> <li>(3) <u>施設の複合化・多機能化の推進</u></li> <li>(4) <u>地域特性等を踏まえた施設配置</u></li> <li>(5) <u>広域的な連携</u></li> </ul>	<p>施設総量について今後20年間で20%縮減することを目標とし、新規整備を抑制して現存施設を活用し、他の公共施設の機能移転や集約化による複合化・多機能化についても検討していきます。</p> <p>また、地域特性等を踏まえた施設の適正な配置を検討していきます。</p>
<b>【基本方針2】 計画的な保全による長寿命化の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>ライフサイクルコストの縮減</u></li> <li>(2) <u>長寿命化基本方針の策定</u></li> <li>(3) <u>施設点検マニュアルの策定</u></li> <li>(4) <u>耐震化の推進</u></li> <li>(5) <u>長野市公共施設等総合管理基金（仮称）の創設</u></li> </ul>	<p>本計画に基づいて、建物を長期にわたり安全で快適な状態に維持するとともに、ライフサイクルコストの軽減と平準化を図ります。</p> <p>また、非構造部材の耐震化について、引き続き対策を進めることとします。</p>
<b>【基本方針3】 効果的・効率的な管理運営と資産活用</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>施設利用の促進</u></li> <li>(2) <u>管理運営の効率化</u></li> <li>(3) <u>受益者負担の適正化</u></li> <li>(4) <u>遊休施設等の積極的な利活用</u></li> </ul>	<p>施設整備や維持管理について、効率化を図るとともに、効率性の高い環境性能に優れた設備への入替えなど、省エネルギーのための改修について検討します。</p> <p>また、校内の活用度の低い教室については有効活用策を探ります。</p>
<b>【基本方針4】 全庁的な公共施設マネジメントの推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>庁内推進体制の強化</u></li> <li>(2) <u>財政との連動</u></li> <li>(3) <u>施設情報の一元化</u></li> <li>(4) <u>職員意識改革の推進</u></li> </ul>	<p>施設の大規模修繕・改修履歴や劣化状況などについてデータベース化を進めます。</p> <p>また、施設整備に際しては全庁的な調整を行い総合管理計画との整合性を図っていくこととします。</p>

## 2 適正配置等

国では小中学校の学級数について、「12学級以上18学級以下」を標準<sup>19</sup>として定めており、長野県教育委員会では、望ましい学校・学級規模として、①学年に複数の学級がある学校規模、②少なくとも学年で、20人程度を確保できること<sup>20</sup>という方針を示しています。

市内の小中学校54校、中学校24校（市立長野中学校を除く）のうち、国の基準及び県の方針を全て満たすのは小学校で13校（24.1%）、中学校で12校（50%）ある一方、全てを満たさない学校は小学校で16校（29.6%）、中学校で7校（29.2%）となっています。



今後は更なる少子化が見込まれる中、現況のままでは国の基準や県の方針を満たす学校が更に減少していくこととなります。本市では、こうした現況を踏まえ、有識者、教育関係者、経済関係者、保護者、地域の代表や公募委員によって構成された長野市活力ある学校づくり検討委員会を立ち上げ、児童・生徒にとって望ましい学習環境について審議を重ね、平成30年6月に委員会から答申を受けました。

答申の中で、児童・生徒は高学年に進めば進むほど、多様性のある集団の中で学ぶことが重要との指摘があり、小学校は少なくとも一つの学年に複数の学級があること、また中学校は全

<sup>19</sup> 学校教育法施行規則第41条、第79条

<sup>20</sup> 「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境の在り方及び支援方策」（長野県教育委員会、平成26年4月）

<sup>21</sup> 「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方について」（長野市活力ある学校づくり検討委員会、平成30年6月）の資料を年次更新したものです。



ての教科で複数の教科担任がそろえられるよう、小学校よりもさらに大きな集団であることが望ましいとされています。望ましい学校・学級規模を確保するためにも、今後は各学校区の人口推移を見極めながら、統廃合も見据えて適正配置について検討を進めていく必要があります。答申においては、地域にはそれぞれ特色があり、たくさんの地域の人々が子どもたちに関わることで、子どもたちの学びが広がり、郷土への愛着を深めることにつながることも指摘しています。できる限り地域に学校を残したいという地域の思いも受け止めつつ、子どもたちの望ましい教育環境を考慮し、小学校の低・中学年は地域で学び、高学年以上は大規模な学校で学ぶことを検討していく必要があると考えます。

また、総合管理計画の中で、検討の方向性として他の公共施設との複合化や多機能化が示されています。教育環境面のみでなく、公共施設マネジメントの視点からも併せて検討していく必要があります。

給食施設については、給食提供数を踏まえた上で給食センター2施設の建設・改築を行っており、現時点では適正な配置となっているものの、今後の児童・生徒数の推移や小中学校の配置等を見据え、更新の際には適正配置・適正規模かつ調理終了から2時間以内に喫食可能となるよう検討していく必要があります。

高等学校施設については、中学校の定員数も含め、当面は現行の定員数を維持していく予定です。

### 3 施設整備の基本的方向性

---

長野市では総合管理計画に基づき、各市有施設の今後10年間の整備の基本的な方向性を示すものとして個別施設計画を定めることとしています。本長寿命化計画においても、学校施設における今後10年間の整備の基本的方向性を別添のとおり定め、この方向性に基づき実施計画を策定します。

この基本的方向性については、原則として全ての学校施設について、当面学校施設としての機能を維持するために長寿命化を図るものとしていますが、第3章で既に述べたとおり、耐力度調査の結果に基づき長寿命化か改築かを判断することとします。

なお、個別の事情を有する施設がいくつかあり、信州新町小学校については、信州新町中学校へ移転し、小学校としての機能を存続することとしています。また、令和4年度をもって閉校を予定する信更中学校、休校・閉校施設及び第三学校給食センターについては、当面改修等を行わず、活用方法を検討することとし、旧鬼無里中学校の耐震性のない校舎については解体する方針です。戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条共同調理場については、学校の今後の在り方を踏まえて検討することとしています。

## 第5章 学校施設の長寿命化方針・整備水準・維持管理

### 1 長寿命化の方針

これまでは「古くなったら建替え」という考え方があり、そのため「壊れたら直す」という事後保全を中心として補修・修繕を行ってきました。これは全国的な傾向であり、平成23年度における学校施設の改築までの平均年数は、鉄筋コンクリート造で概ね42年となっていました<sup>22</sup>。しかし、今後長野市全体で施設に対して改修や改築にかけることのできる予算には限りがあることから、今までのようなサイクルでの建替えによる老朽化対策から転換し、劣化が進む前に補修・修繕を行う予防保全と、機能向上を図る改良保全も積極的に取り入れ、施設を計画的に維持保全して長寿命化を図ることによって、単年度の建替えコストを軽減していくことが必要です。

本市では総合管理計画の第6章において「公共施設等長寿命化基本方針」を定めていることから、老朽化が進んでいる学校施設においても、その基本的な方針に則り、長寿命化に取り組んでいきます。

#### (1) 目標使用年数の設定

本市の小中学校施設では、第2章の6で触れたとおり、劣化・損傷した部分の部分補修・修繕を繰り返しながら、平均44.3年にて老朽化により改築を進めてきており、全国的な傾向と同様です。

しかし、これまで述べてきたとおり、予算を効率的に執行していくためには、定期的な予防保全や適切な維持管理を実施することにより、学校施設を長く活用していくことが必要です。そこで、総合管理計画において本市の公共施設の目標使用年数を80年と設定していることから、学校施設においても基本的には80年間使用することとし、目標達成に向け施設を適切に維持・保全していくこととします。

なお、旧耐震基準で建設された建物については、それまでの改修状況等を勘案し、80年間の使用に耐えうるかどうか、耐力度調査結果を基に、個々に判断していくこととします。

#### (2) 改修周期の設定

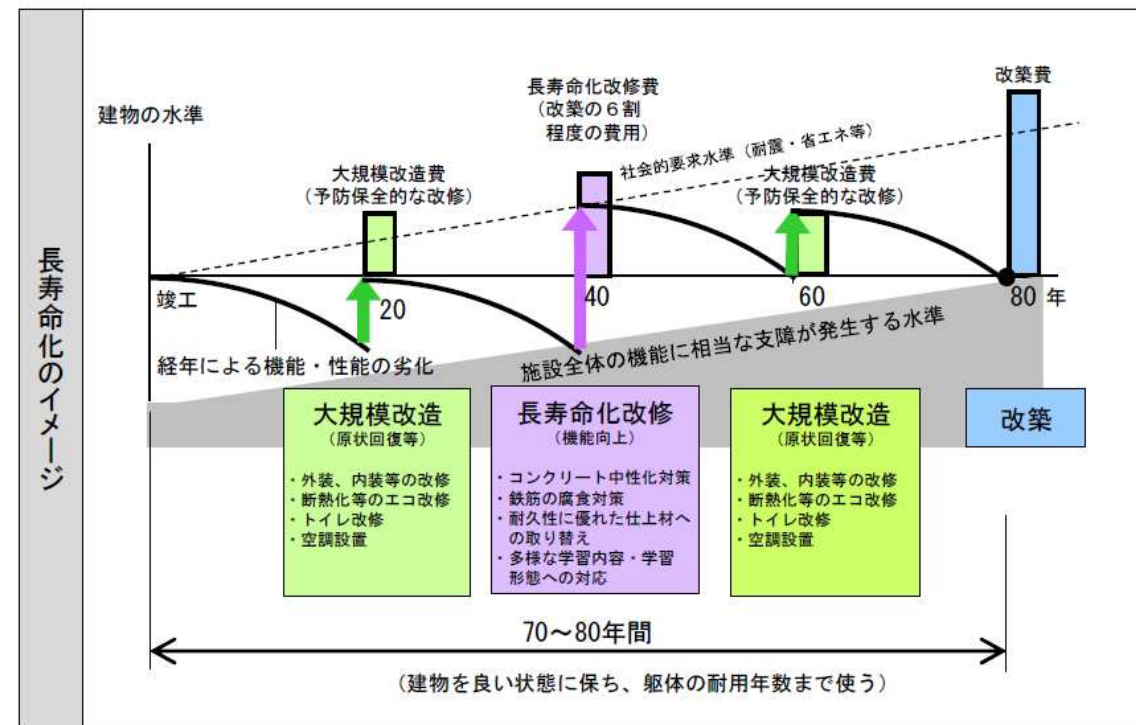
目標使用年数である80年間にわたり施設を維持するためには、計画的な改修が不可欠となります。そこで、改修の周期についても目安を設定することとします。

まずは、予防保全的に原状回復を中心として実施する大規模な改修の周期ですが、建設から20年と60年を目安に実施します。この改修においては、内外装や老朽化した設備の改修・更新等を行います。

<sup>22</sup> 文部科学省「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」(平成25年3月)

また、建設から40年後には、躯体の中酸化対策や給排水配管の更新、省エネ性能の向上などを行う長寿命化改修を実施することで、以後40年程度その建物を使用することができるようになります。

●図表3 長寿命化に向けたイメージ



出典：学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説(文部科学省、P.27)

## 2 改修等の整備水準

今後、改築や長寿命化、予防保全改修を実施するに当たり、各建物の整備レベルの統一を図るため、目安となる整備水準を設定します。設定に際しては、整備費用だけでなく、整備後の維持管理費用やメンテナンスの容易性、耐久性、省エネ性能の向上も考慮して仕様を検討しています。また、改築については、長寿命化の整備水準と同等の仕様とします。

### (1) 校舎

部位		長寿命化	予防保全	
外部	屋根	ガルバリウム鋼板葺替え (またはカバー工法による改修)	全面塗装 (防水対策含む)	
	外壁	クラック・浮きの補修 仕上材の全面撤去、塗替え (防水形複層塗材、中性化対策) 断熱対策 (外断熱化など)	クラック・浮きの補修 部分塗装 (防水・劣化対策、必要に応じて全面塗装)	
	開口部	サッシ	既存撤去、サッシ交換	既存サッシ
		ガラス	複層ガラス+飛散防止対策	飛散防止対策 (未施工の場合)
	シーリング (外壁・建具廻り)	既存撤去、全面打替え	部分補修	
	バルコニー	床	ウレタン塗膜防水 (全面施工)	ウレタン塗膜防水
		手摺	既存撤去、アルミ製手摺に交換 (笠木含む)	全面塗装
	外部階段	全面塗装・補修 (必要に応じて更新)	部分塗装・補修 (必要に応じて全面塗装)	
外構	各出入口のスロープ整備 駐車場からのアプローチ確保	可能な範囲で段差解消		
内部	天井	既存撤去、全面更新、断熱対策 又は全面再塗装、全面張替えなど (県産材を活用した木質化を検討)	塗装・張替など部分改修	
	壁			
	床			
	スクールパーティション			
	建具	既存撤去、ユニバーサルデザインに配慮した仕様に更新	塗装・部品交換など部分改修	
	家具	既存撤去、耐震性とユニバーサルデザインを考慮した仕様に更新	ガラス面は飛散防止 塗装・部品交換など部分改修	
	トイレ	全面更新・洋式化・バリアフリー化、多目的トイレの整備	洋式化推進 (必要に応じて全面更新)	

	エレベーター	未設置の場合、校内に1か所整備	既存設備の部分改修
	照明	既存撤去、更新(LED)	LED化
	防火設備	既存撤去、更新	部品交換など部分改修 既存不適格については可能な範囲で更新
	各種電気・機械設備 機器	全面更新(省エネ型の機器を採用、落下・転倒防止対策含む)	更新が必要な機器については省エネ型の機器を採用(落下・転倒防止対策含む)
	各種配線・配管	全面更新、メンテナンスが容易となるように配置	老朽化対策
	エアコン	普通教室を中心に整備(既存については必要に応じて更新)	同左
共通	教育環境整備	ICT化推進などに配慮	同左
	各種通路	車いす等での通行に配慮した仕様に改修	可能な範囲で段差解消
	アスベスト対策	原則全て撤去	被覆されていないものは可能な範囲で撤去

## (2) 屋内運動場

部位		改築・長寿命化	予防保全	
外部	屋根	ガルバリウム鋼板葺替え、下地(木毛板等)葺替え、断熱対策	全面塗装(防水対策含む)	
	外壁	クラック・浮きの補修、断熱対策 仕上材の全面撤去、塗替え (防水形複層塗材、中性化対策)	クラック・浮きの補修、部分塗装 (必要に応じて全面塗装)	
	開口部	サッシ	既存撤去、サッシ交換	既存のまま
		ガラス	複層ガラス+飛散防止対策	破損部のみ交換(※飛散防止対策済み)
	シーリング (外壁・建具廻り)	既存撤去、全面打替え	部分補修	
外構	出入口のスロープ整備 駐車場からのアプローチ確保	可能な範囲で段差解消		
内部	天井(アリーナ以外)	既存撤去、全面更新	塗装・張替えなど部分改修	
	壁	又は全面再塗装、全面張替え		
	床(フローリング以外)	(県産材による木質化を検討)		

	フローリング（アリーナ・ステージ）	全面撤去、更新（鋼製床下地組共） 断熱対策	研磨、全面塗替え
	トイレ	全面更新・洋式化・バリアフリー化、多目的トイレの整備	洋式化推進（必要に応じて全面更新）
	照明	既存撤去、更新（LED）	LED化（※落下防止対策済み）
	各種電気・機械設備 機器	既存撤去、更新（省エネ型の機器を採用、頭上の機器は落下防止対策含む）	更新が必要な機器については省エネ型の機器を採用
	シャワールーム	避難所に指定されている場合は新設又は更新	既存設備の老朽化対策
共通	アスベスト対策	原則全て撤去	被覆されていないものは可能な範囲で撤去

### (3) 各種設備の更新目安

設備名	更新目安	備考
キュービクル	30年	更新目安直近に予定される建物の改修等に合わせて更新
受水槽	40年	同上
各種ポンプ	20～30年	同上
エレベーター	30年	設置建物の改修時期と合わないため単体での更新を検討
空調設備	20年	更新目安を超えて直近に予定される建物の改修等に合わせて更新

### (4) プール

部位・設備	更新目安	備考
躯体	40～60年	
躯体の防水・塗装	20年	状況を確認しながら必要に応じて実施
ろ過設備	20～25年	同上
給排水配管	30年	同上

ただし、全校1プールを維持していくのは困難であることから、拠点学校を定めて複数校で利用することや、市営プールの活用、民間委託等、幅広い検討を進めています。山王小学校においては、令和元年度から市営プールの活用と民間委託を実施しています。

(5) 給食施設

部位		改築・長寿命化	予防保全	
外部	屋根	ガルバリウム鋼板葺替え	全面塗装（防水対策含む）	
	外壁	金属系サイディング全面塗装	部分塗装（防水対策含む、必要に応じて全面塗装）	
	開口部	サッシ	既存撤去、サッシ交換	既存のまま
		ガラス	複層ガラス＋飛散防止対策	破損部のみ交換・飛散防止対策
	シーリング （外壁・建具廻り）	既存撤去、全面打替え	部分補修	
	外構	出入口のスロープ整備 駐車場からのアプローチ確保	可能な範囲で段差解消	
内部	天井	既存撤去、全面更新、断熱対策	塗装・張替など部分改修	
	壁	又は全面再塗装、全面張替え		
	床	など		
	トイレ	全面更新	老朽化した設備の更新	
	照明	既存撤去、LED化・落下防止	LED化（落下防止対策含む）	
	各種電気・機械設備 機器	既存撤去、更新（省エネ型の機器を採用、頭上の機器は落下防止対策含む）	更新が必要な機器については省エネ型の機器を採用	
	各種配線・配管	全面更新、メンテナンスが容易となるように配置	老朽化対策	
エアコン	全面的に整備（既存については必要に応じて更新）	同左（必要に応じて更新）		
共通	アスベスト対策	原則全て撤去	被覆されていないものは可能な範囲で撤去	

※施設全体として、ドライシステムの採用及びHACCP（ハサップ）<sup>23</sup>の概念に基づく確実な衛生管理を実施できることを基本とします。

※共同調理場の建物（各種設備を除く）については、校舎等に準じて改修等を行います。

<sup>23</sup> Hazard Analysis Critical Control Point の略。食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステムのこと。



### 3 学校施設の維持管理

---

学校施設を、少しでも長く良好な状態を保つために重要な、日々の維持管理の内容を定めま  
す。

#### (1) 各種法定点検・保守点検の確実な実施

これまでも取り組んできているところですが、建築基準法第12条に基づく各種点検や消防  
設備、防犯警報装置の点検など、建築物や設備の点検を確実に実施し、指摘を受けた事項に  
ついてはできるだけ速やかに改善していきます。

#### (2) 日常的な点検

学校施設については、学校保健安全法第27条及び同法施行規則第28条・第29条により、安  
全点検の実施が義務付けられ、各学校で実施されています。この日常点検の中で、施設や設  
備の不具合について、早い段階で発見し、対策を講じることで、老朽化の進行や他の設備等  
に影響が拡大することを防ぐことができ、結果として維持管理費用を抑えることが可能とな  
ります。

長野市では、公共施設総合管理計画と共に、公共建築物保全マニュアルも策定しているこ  
とから、このマニュアルを参考としながら、学校における日常点検を今後も進め、施設や設  
備の不具合の早期発見に努めることとします。

#### (3) 維持改修・修繕の的確な実施

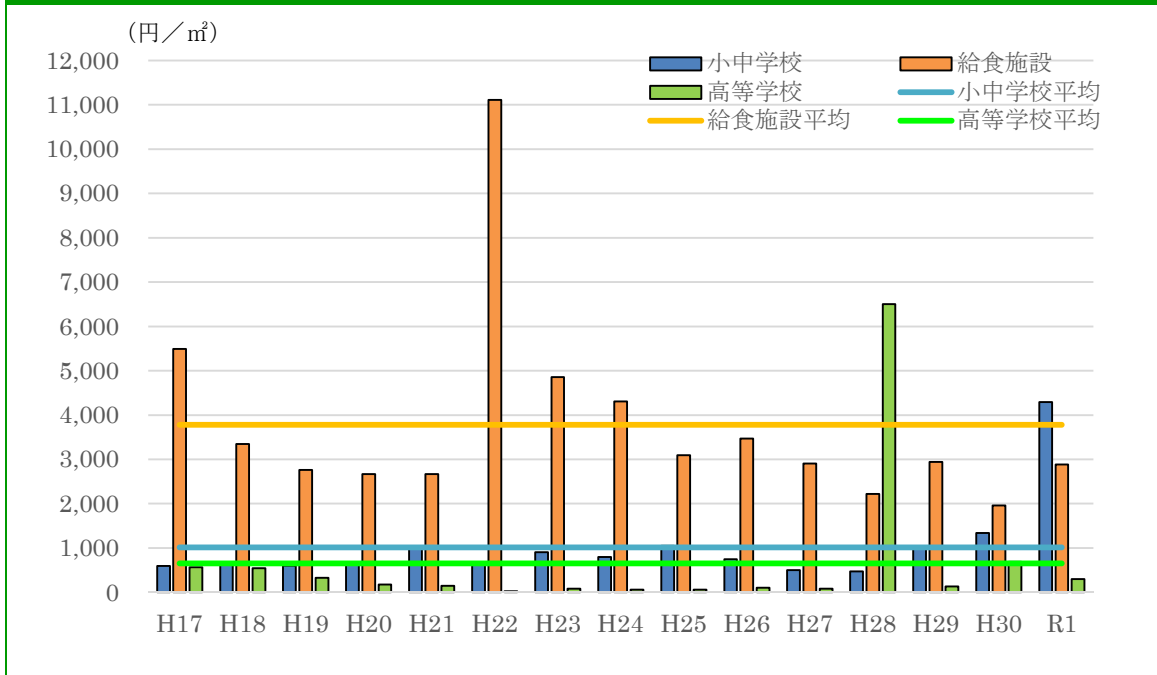
平成17年度からの過去15年間において、本市の小中学校施設では1㎡当たり<sup>24</sup>平均約1,017  
円、給食施設では約3,779円、高等学校施設では約652円の維持改修・修繕費がかかっていま  
す（グラフ22）。給食施設は附帯設備や給排水管が他の学校施設よりも多いことから、維持  
改修・修繕費が他の施設よりもかかっています。また、高等学校については、全面改築後の  
平成23年度以降は、平成28年度のみ市立長野中学校開設のための内部改修費がかかっている  
ものの、それ以外の年度は約188円/㎡と、他の施設と比べると維持改修・修繕費用がかな  
り抑制できている状況です。

大規模な改修は今後計画的に実施していくこととしますが、これまでも述べてきたとお  
り、不具合が発見された場合に、早期に対応することで、以降の劣化や躯体・他の設備等へ  
の影響を抑えることができます。日々の維持改修工事及び修繕については、早期に適切に実  
施していくことを目指します。

---

<sup>24</sup> 算出に使用した延べ床面積は、本計画の対象とならない付属棟などを含んでいます。

●グラフ22 施設維持改修・修繕費の㎡あたり金額



## 第6章 施設整備の実施計画

### 1 実施計画の考え方の整理

#### (1) 施設整備の優先順位

今後の学校施設整備を進めるに当たっては、劣化状況調査結果を基に、健全度が低く、かつ古い施設から順次長寿命化改修・改築を進めていくこととします。また、長寿命化に資するための予防保全改修も、適切な時期に進めていくこととします。

ただし、活力ある学校づくり検討委員会の答申も踏まえ、更なる少子化の進行に向けてよりよい学習環境整備を考慮する必要があることや、国庫補助要件を満たすか等、総合的に勘案し、決定します。

#### (2) 長寿命化推進に係るコストの見通し

今後、長寿命化を推進していくに当たり、既存の施設全てについて建築後20年と60年経過時に予防保全改修、築40年経過時に長寿命化改修を行い、築80年で現在の規模のまま改築することを前提として、小中学校施設については今後40年間、給食施設・高等学校施設については今後60年間に必要となるコストの推計を行っています。

なお、推計に係る前提条件は、以下のとおりです。

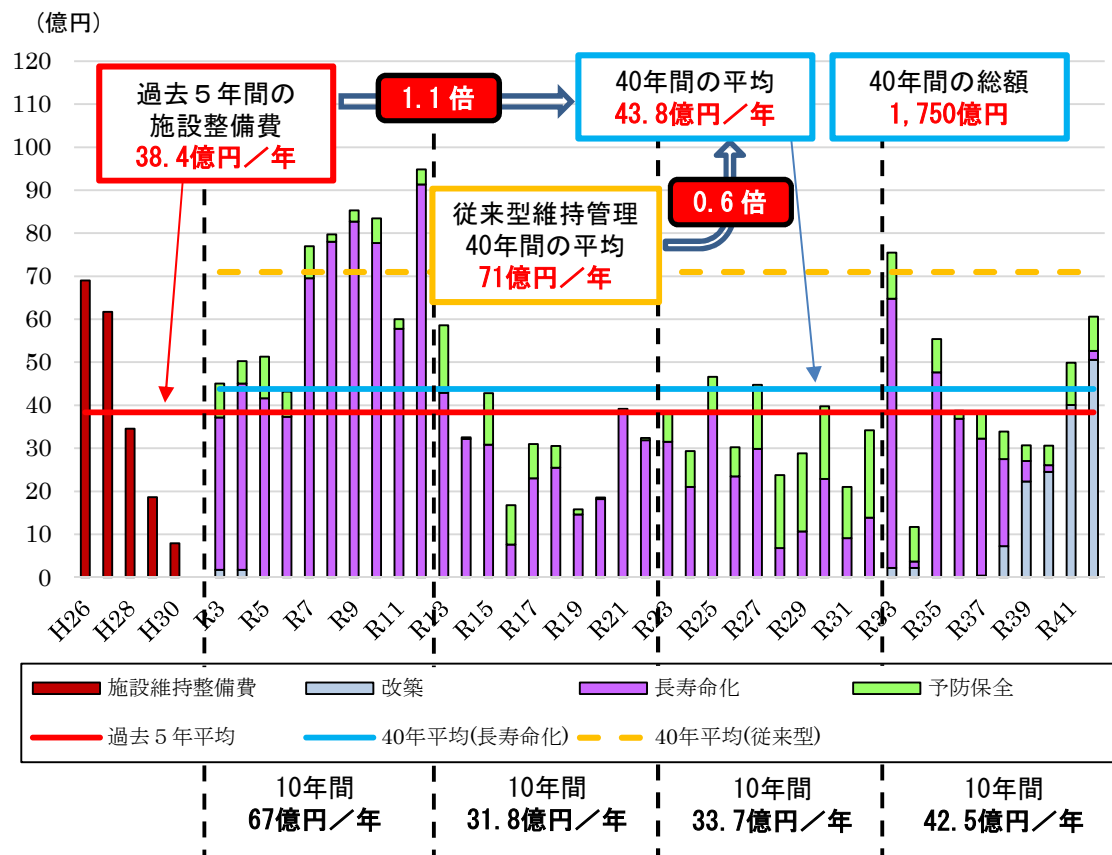
- ・小中学校施設においては、既に40年以上経過している建物が多く、費用の平準化を図るため、築50年以上の建物の長寿命化改修を今後10年間で均等に実施（均等に分割して費用を計上）し、築30年以上かつ49年以下の建物は、築49年を迎える年度に長寿命化改修を実施
- ・同様に、既に20年以上経過している建物が多いことから、築20年以上かつ29年以下の建物は、築29年を迎える年度に予防保全改修を実施
- ・給食施設において、いずれも築40年を超える共同調理場は、築年が古い順に令和3年度から順次長寿命化改修を実施
- ・いずれの施設についても、改築の費用は2年間均等に分割して計上

#### ① 小中学校施設

小中学校施設については、長寿命化を推進することで、今後40年間のコスト総額は約1,750億円となり、従来どおりの維持管理を行う場合と比較して約1,090億円、年間平均では約27億円削減できる見込みです。

しかしながら、年間平均では過去5年と比較して約1.1倍の費用が必要となり、長野市の今後の財政状況を考慮すると、このまま長寿命化を推進することは困難であり、児童・生徒の推計とも照らし合わせて、施設規模の見直し等も進めていくなど、何らかの対策を検討していく必要があります。

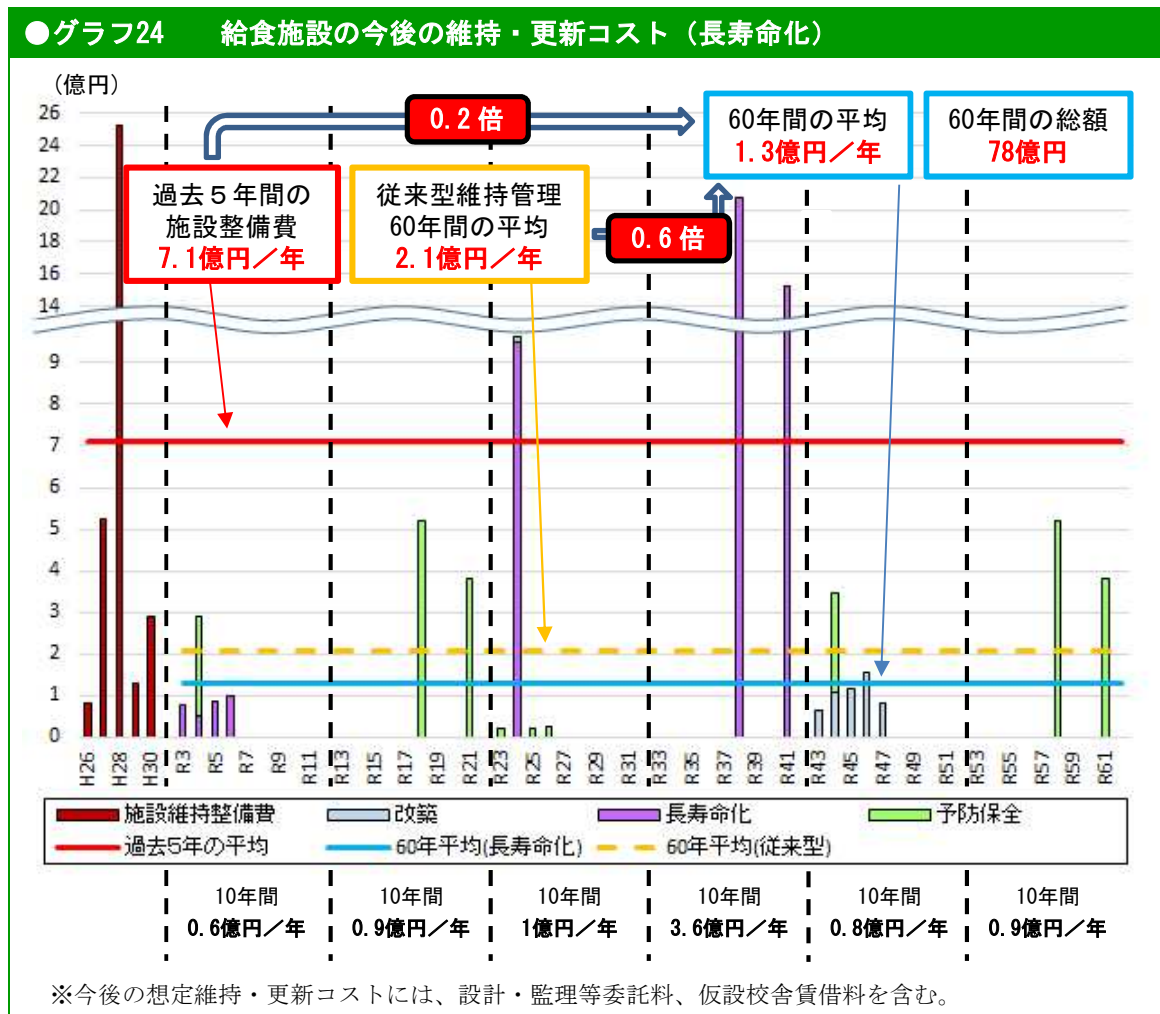
●グラフ23 小中学校施設の今後の維持・更新コスト（長寿命化）



※今後の想定維持・更新コストには、設計・監理等委託料、仮設校舎賃借料を含む。

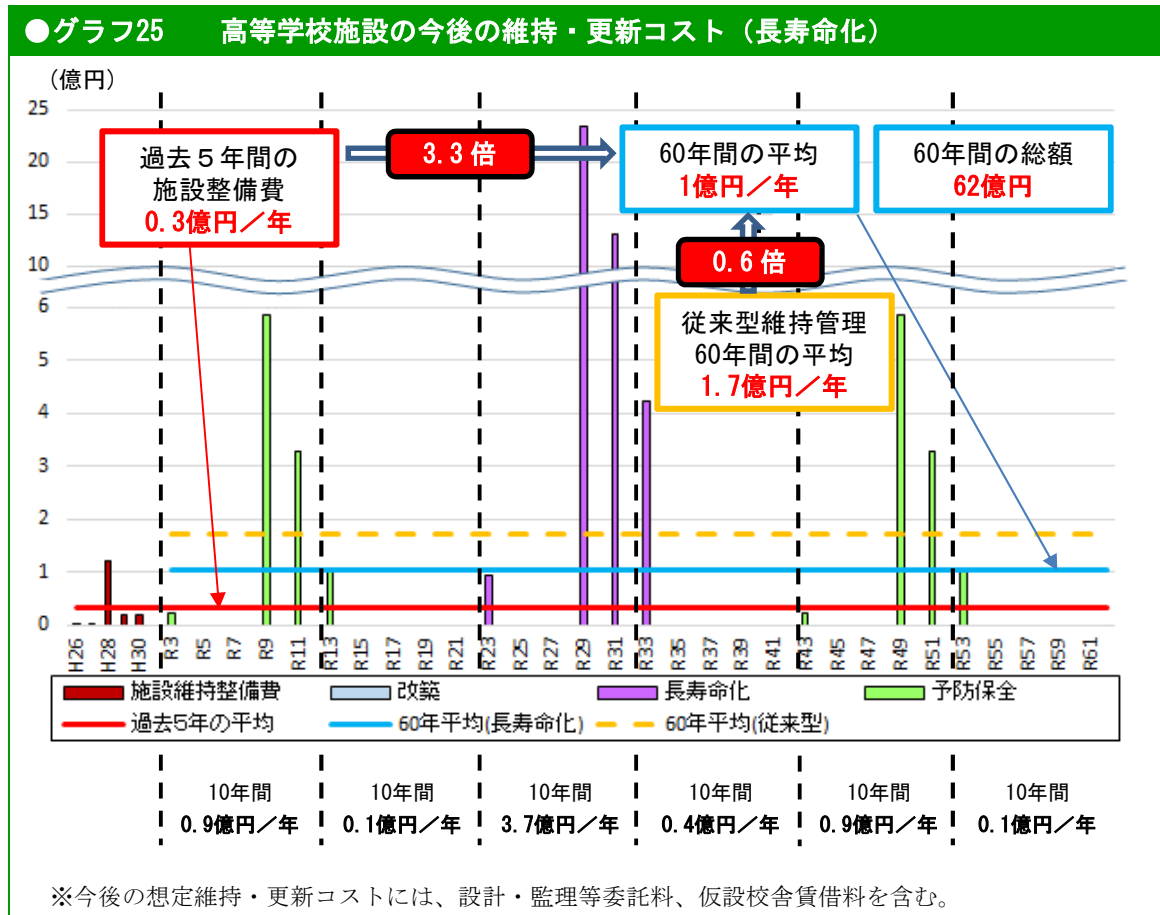
## ②給食施設

給食施設では、長寿命化を推進することにより、今後60年間の維持・更新コストは総額約78億円となり、従来通りの維持管理よりも全体で約46億円、年間平均で約8,000万円の削減が見込まれます。これは、第一・第二・第四給食センターの改築が令和44年以降に見込まれていたものの、長寿命化改修により費用が大きく削減されることが主な要因となっています。



### ③高等学校施設

高等学校施設では、長寿命化の推進により、今後60年間の総額で約42億円、年間約7,000万円の削減が見込まれます。令和49年から6年間に見込まれていた校舎改築が令和29年からの長寿命化改修となることで、費用の大幅な削減が見込まれます。



## 2 長寿命化実施計画

### (1) 小中学校施設

小中学校施設は数が多く、既存施設について長寿命化対策を実施していくためには、相当な規模の投資を継続的に行っていく必要があります。しかしながら、長野市は令和元年東日本台風災害により大きな被害を受け、更に新型コロナウイルスの流行に対応していく必要もあり、今後の財政状況は非常に厳しい見通しとなっております。

そこで、本実施計画では、今後5年間について、過去5年間の学校施設の大規模工事に係る予算のうち、一般財源<sup>25</sup>投資額と同程度の投資の範囲内で長寿命化を図ることを目標として設定します。また、柔軟性をもって対応できるよう、改修を実施する建物名について本計画には記載せず、随時決定していくこととします。

#### ①過去5年間の学校施設大規模工事予算額

	H26	H27	H28	H29	H30	平均
歳出(千円)	6,584,221	6,137,951	4,025,442	1,384,700	3,375,821	4,301,627
国庫補助	566,311	776,950	310,299	121,868	948,317	544,749
起債	1,823,000	2,907,700	2,240,300	917,100	2,306,900	2,039,000
一般財源	4,194,910	2,453,301	1,474,843	345,732	120,604	1,717,878



5年間の平均一般財源額 17億円 → 実施計画期間中の一般財源年間投資目標額に設定

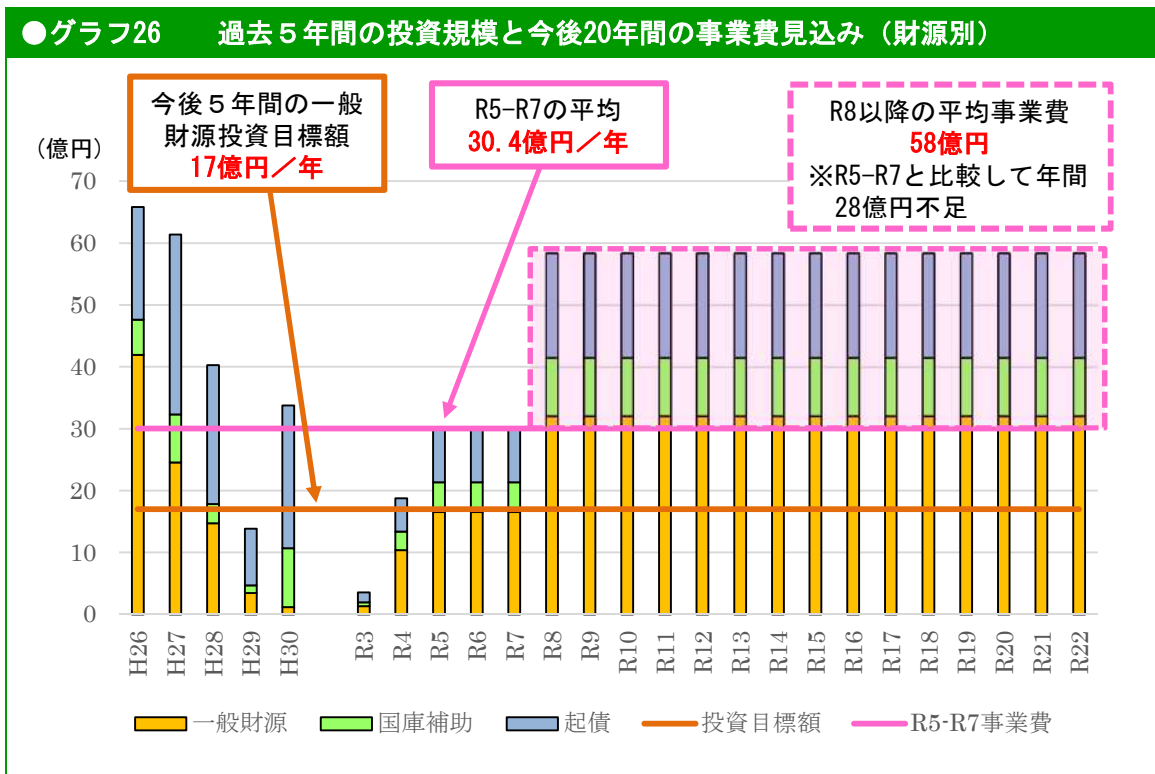
#### ②実施計画期間中の長寿命化対策実施棟数及び事業費

	R3	R4	R5	R6	R7	合計
実施棟数	1	12	13	13	13	52
事業費(千円)	357,770	1,875,505	3,004,320	3,004,320	3,004,320	11,246,235
国庫補助	64,940	299,328	482,511	482,511	482,511	1,811,801
起債	159,500	538,600	868,400	868,400	868,400	3,303,300
一般財源	133,330	1,037,577	1,653,409	1,653,409	1,653,409	6,131,134

※令和3年度は、令和4年度以降本格的に長寿命化改修を進めるための準備期間として、耐力度調査と実施設計を行います。

※事業費については、今後20年間に想定される建物1棟当たりの改修費用平均から算出しています。

<sup>25</sup> 収入の段階で用途が決まっておらず、地方自治体が独自にその用途を決めることができる財源を指します。一般財源とは逆にその用途が最初から決められているものを特定財源と言い、国庫補助や起債がこれに該当します。



なお、グラフ26から分かるように、今後5年間の投資目標額17億円に合わせた令和5～7年度の事業費と、令和8年度以降の平均事業費を比較すると、約28億円の乖離が生じてしまうことから、事業費縮減のために更なる取り組みが必要です。

## (2) 給食施設

給食施設については、第二給食センターが令和4年度に建替えから20年を迎えますが、継続的な給食提供には長期間にわたり施設を休止できないこと、工事実施は期間が限られているなどから、給食提供に支障のない範囲での改修を適宜行うこととします。

なお、共同調理場の改修等については、併設の学校施設と同時期に改修を行うこととします。

## (3) 高等学校施設

高等学校施設については、セミナーハウスが築20年を既に超えており、予防保全改修を実施することとなりますが、小規模施設であることから、令和9年度以降に校舎や複合体育館が建設から20年を迎える際に、同時に改修することとします。そのため、次期実施計画において、具体的な実施時期を検討します。



## 第7章 長寿命化計画の継続的運用について

第4章の学校施設整備に係る基本方針4に基づき、本計画の継続的運用について以下のとおりとします。

### 1 情報基盤の整備と活用

長野市では、公共施設マネジメントシステムを導入しているため、このシステムを活用し、施設の大規模修繕・改修履歴や劣化状況などをデータベース化し、管理していくこととします。

### 2 推進体制

施設所管課である教育委員会事務局総務課・保健給食課・市立長野高校の各課を中心に、学校施設のマネジメントを行っていきますが、必要に応じて長野市公共施設等総合管理調整会議等を活用し、全庁的な調整を行いつつ、長野市全体の公共施設管理の方向性を踏まえた対応をしていくこととします。

### 3 フォローアップ

本計画については、学校施設の改修や改築の際の基準や考え方を示すものであり、公共施設整備事前協議<sup>26</sup>や各年度の予算編成を通じて年次及び個別の事業費を精査するとともに、事業の進捗状況や社会情勢の変化等に応じて本計画を見直していくこととします。

<sup>26</sup> 公共施設整備事業の計画段階において、公共施設等長寿命化基本方針や公共施設再配置計画といった公共施設マネジメントの観点から、全庁横断的に工事の優先順位をつける手続きです。

小中学校施設一覧

■: 築50年以上 □: 築30年以上

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分
1	11	城山小学校	北校舎13-1.2番棟	13-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,730	1973	S48	47	旧	済	済	H17	30.6	長寿命
2	11	城山小学校	中校舎14-1.2番棟	14-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,763	1974	S49	46	旧	済	済	H19	31.2	長寿命
3	11	城山小学校	南校舎	21	小学校	校舎	RC	2	1,429	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
4	11	城山小学校	体育館	22	小学校	体育館	S	2	960	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
5	13	鍋屋田小学校	北校舎1-1.2番棟	1-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,703	1970	S45	50	旧	済	済	H21	23.1	長寿命
6	13	鍋屋田小学校	昇降口棟	2	小学校	校舎	S	1	400	1971	S46	49	旧	済	済	H17		長寿命
7	13	鍋屋田小学校	南校舎3-1.2番棟	3-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,379	1968	S43	52	旧	済	済	H20	27.7	長寿命
8	13	鍋屋田小学校	体育館	4	小学校	体育館	RC	2	791	1975	S50	45	旧	済	-	H15	28.8	長寿命
9	12	加茂小学校	北校舎	3	小学校	校舎	RC	3	1,746	1972	S47	48	旧	済	済	H17	25.1	長寿命
10	12	加茂小学校	南校舎4-1.2,3番棟	4-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	1,413	1977	S52	43	旧	済	済	H18	27.4	長寿命
11	12	加茂小学校	体育館	7	小学校	体育館	S	2	1,018	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
12	15	山王小学校	南校舎3-1.2番棟	3-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,125	1971	S46	49	旧	済	済	H21	24.4	長寿命
13	15	山王小学校	体育館	4	小学校	体育館	RC	2	748	1971	S46	49	旧	済	-	H8	24.5	長寿命
14	15	山王小学校	北校舎5-1.2,3番棟	5-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,141	1972	S47	48	旧	済	済	H22	28.3	長寿命
15	15	山王小学校	昇降口棟	6	小学校	校舎	RC	2	693	1973	S48	47	旧	済	-	H18	38.8	長寿命
16	16	芹田小学校	南校舎	3	小学校	校舎	RC	3	2,436	1968	S43	52	旧	済	済	H20	25.5	長寿命
17	16	芹田小学校	中校舎18-1.2,3,4番棟	18-1.2,3,4	小学校	校舎	RC	4	2,327	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
18	16	芹田小学校	体育館	22	小学校	体育館	S	2	959	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
19	16	芹田小学校	東校舎	28	小学校	校舎	RC	3	1,677	2015	H27	5	新	-	-			長寿命
20	16	芹田小学校	多目的棟	29	小学校	校舎	S	2	1,192	2017	H29	3	新	-	-			長寿命
21	17	古牧小学校	南校舎3-1.2,3番棟	3-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,915	1970	S45	50	旧	済	済	H20	23.7	長寿命
22	17	古牧小学校	中校舎	6	小学校	校舎	RC	3	1,409	1977	S52	43	旧	済	済	H18	27.3	長寿命
23	17	古牧小学校	昇降口棟	7	小学校	校舎	RC	2	446	1978	S53	42	旧	済	-	H15		長寿命
24	17	古牧小学校	北校舎	8	小学校	校舎	RC	3	1,403	1978	S53	42	旧	済	済	H21	26	長寿命
25	17	古牧小学校	西体育館	11	小学校	体育館	S	2	1,019	1981	S56	39	旧	済	済	H23	31.8	長寿命
26	17	古牧小学校	東体育館	14	小学校	体育館	S	1	664	1988	S63	32	新	-	-			長寿命
27	74	緑ヶ丘小学校	北校舎	1.2	小学校	校舎	RC	3	4,554	1991	H3	29	新	-	-			長寿命
28	74	緑ヶ丘小学校	南校舎3-1番棟	3-1	小学校	校舎	RC	2	1,742	1991	H3	29	新	-	-			長寿命
29	74	緑ヶ丘小学校	南校舎3-2番棟	3-2	小学校	校舎	RC	2	622	2003	H15	17	新	-	-			長寿命
30	74	緑ヶ丘小学校	体育館4-1.2番棟	4-1.2	小学校	体育館	S	2	1,384	1991	H3	29	新	-	-			長寿命
31	18	三輪小学校	西校舎3-1.2,3番棟	3-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,304	1976	S51	44	旧	済	-	H19	37.4	長寿命
32	18	三輪小学校	体育館	11	小学校	体育館	S	2	993	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
33	18	三輪小学校	東校舎	18	小学校	校舎	RC	3	1,749	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
34	18	三輪小学校	南校舎28-1.2番棟	28-1.2	小学校	校舎	W	2	1,091	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
35	19	吉田小学校	南中校舎	21	小学校	校舎	RC	3	1,932	1980	S55	40	旧	済	-	H18	36	長寿命
36	19	吉田小学校	南東校舎	25	小学校	校舎	RC	3	710	1999	H11	21	新	-	-			長寿命
37	19	吉田小学校	北校舎	35	小学校	校舎	RC	3	2,705	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
38	19	吉田小学校	西校舎	36	小学校	校舎	RC	3	834	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
39	19	吉田小学校	体育館(特別教室棟含む)	42	小学校	体育館	S	3	2,342	2015	H27	5	新	-	-			長寿命
40	20	裾花小学校	中校舎2-1.2番棟	2-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,756	1976	S51	44	旧	済	-	H18	32.8	長寿命
41	20	裾花小学校	東校舎	4	小学校	校舎	RC	3	1,061	1978	S53	42	旧	済	-	H8	26.95	長寿命
42	20	裾花小学校	南校舎	5	小学校	校舎	RC	3	1,803	1978	S53	42	旧	済	済	H21	33.3	長寿命
43	20	裾花小学校	体育館11-1.2番棟	11-1.2	小学校	体育館	S	2	938	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
44	20	裾花小学校	北校舎	18	小学校	校舎	RC	3	2,739	2007	H19	13	新	-	-			長寿命
45	21	城東小学校	体育館	9	小学校	体育館	S	2	1,045	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
46	21	城東小学校	北校舎	16	小学校	校舎	RC	3	3,839	2008	H20	12	新	-	-			長寿命
47	21	城東小学校	南校舎	17	小学校	校舎	RC	2	1,466	2008	H20	12	新	-	-			長寿命
48	69	湯谷小学校	北校舎1-1番棟	1-1	小学校	校舎	RC	3	2,296	1970	S45	50	旧	済	済	H21	28.1	長寿命
49	69	湯谷小学校	北校舎1-2,3番棟	1-2,3	小学校	校舎	RC	2	608	2005	H17	15	新	-	-			長寿命

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分
50	69	湯谷小学校	南校舎2-1.2番棟	2-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,323	1968	S43	52	旧	済	済	H20	29.2	長寿命
51	69	湯谷小学校	昇降口棟	3	小学校	校舎	S	1	258	1970	S45	50	旧	済	済	H21	22.5	長寿命
52	69	湯谷小学校	体育館	4	小学校	体育館	S	1	839	1969	S44	51	旧	済	済	H25	18.4	長寿命
53	69	湯谷小学校	西校舎	12	小学校	校舎	RC	2	675	1993	H5	27	新	-	-			長寿命
54	70	南部小学校	中校舎	10	小学校	校舎	RC	3	2,265	1970	S45	50	旧	済	済	H18	31.3	長寿命
55	70	南部小学校	北校舎12-1.2番棟	12-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,382	1977	S52	43	旧	済	済	H18	26.7	長寿命
56	70	南部小学校	南校舎13-1.2,3番棟	13-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	1,823	1978	S53	42	旧	済	-	H21	27.4	長寿命
57	70	南部小学校	昇降口棟	14	小学校	校舎	S	1	221	1979	S54	41	旧	済	-	H23		長寿命
58	70	南部小学校	体育館	16	小学校	体育館	S	2	1,152	1980	S55	40	旧	済	済	H16	21.1	長寿命
59	70	南部小学校	視聴覚教室棟	19	小学校	校舎	S	1	317	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
60	25	大豆島小学校	北校舎1-1.2番棟	1-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,497	1976	S51	44	旧	済	-	H17	39.9	長寿命
61	25	大豆島小学校	東校舎2-1.2,3番棟	2-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	1,621	1976	S51	44	旧	済	-	H16	27.1	長寿命
62	25	大豆島小学校	南校舎3-1.2番棟	3-1.2	小学校	校舎	RC	4	2,238	1978	S53	42	旧	済	済	H19	28.7	長寿命
63	25	大豆島小学校	体育館	16	小学校	体育館	S	2	1,006	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
64	25	大豆島小学校	西校舎24-1.2番棟	24-1.2	小学校	校舎	S	2	1,264	2009	H21	11	新	-	-			長寿命
65	23	朝陽小学校	北校舎1-1.2,3番棟	1-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,567	1974	S49	46	旧	済	-	H17	33.8	長寿命
66	23	朝陽小学校	南校舎2-1.2,3番棟	2-1.2,3	小学校	校舎	RC	4	3,468	1977	S52	43	旧	済	済	H15	28	長寿命
67	23	朝陽小学校	体育館4-1.2番棟	4-1.2	小学校	体育館	RC	1	805	1971	S46	49	旧	済	-	H26	27.7	長寿命
68	23	朝陽小学校	昇降口棟	17	小学校	校舎	S	1	167	1997	H9	23	新	-	-			長寿命
69	24	柳原小学校	北校舎1-1.2,3,4番棟	1-1.2,3,4	小学校	校舎	RC	3	2,767	1975	S50	45	旧	済	済	H19	27.1	長寿命
70	24	柳原小学校	昇降口棟	2	小学校	校舎	S	1	271	1976	S51	44	旧	済	-	H24		長寿命
71	24	柳原小学校	体育館	4	小学校	体育館	S	2	982	1977	S52	43	旧	済	済	H16	27.6	長寿命
72	24	柳原小学校	南校舎8-1番棟	8-1	小学校	校舎	RC	3	1,395	1979	S54	41	旧	済	済	H18	40.2	長寿命
73	24	柳原小学校	南校舎8-2番棟	8-2	小学校	校舎	RC	3	759	2008	H20	12	新	-	-			長寿命
74	28	長沼小学校	体育館	1	小学校	体育館	S	2	803	1980	S55	40	旧	済	済	H19	26.9	長寿命
75	28	長沼小学校	校舎	2	小学校	校舎	RC	3	2,337	1981	S56	39	旧	済	済	H22		長寿命
76	28	長沼小学校	昇降口棟	3	小学校	校舎	S	1	135	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
77	22	古里小学校	南校舎4-1.2番棟	4-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,235	1973	S48	47	旧	済	-	H12	35	長寿命
78	22	古里小学校	北校舎5-1.2,3番棟	5-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	1,991	1974	S49	46	旧	済	-	H19	32.8	長寿命
79	22	古里小学校	第1体育館	9	小学校	体育館	S	2	942	1979	S54	41	旧	済	済	H19	36.2	長寿命
80	22	古里小学校	特別教室棟	12	小学校	校舎	RC	4	1,242	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
81	27	若槻小学校	北校舎1-1.2,3番棟	1-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	1,692	1971	S46	49	旧	済	済	H17	33	長寿命
82	27	若槻小学校	中校舎2-1.2番棟	2-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,147	1970	S45	50	旧	済	済	H19	31.8	長寿命
83	27	若槻小学校	南校舎3-1.2,3番棟	3-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,022	1974	S49	46	旧	済	済	H19	34.1	長寿命
84	27	若槻小学校	昇降口棟	4	小学校	校舎	S	1	271	1976	S51	44	旧	済	-	H21		長寿命
85	27	若槻小学校	南体育館8-1.2番棟	8-1.2	小学校	体育館	S	2	893	1976	S51	44	旧	済	済	H8	27.1	長寿命
86	73	徳間小学校	北校舎	1	小学校	校舎	RC	3	2,005	1979	S54	41	旧	済	-	H20	37.8	長寿命
87	73	徳間小学校	南校舎	2	小学校	校舎	RC	3	1,181	1979	S54	41	旧	済	-	H20	39.7	長寿命
88	73	徳間小学校	特別教室棟	3	小学校	校舎	RC	1	306	1979	S54	41	旧	済	-	H16		長寿命
89	73	徳間小学校	東校舎4-1.2番棟	4-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,835	1979	S54	41	旧	済	-	H20	34.3	長寿命
90	73	徳間小学校	体育館	5	小学校	体育館	S	2	994	1981	S56	39	旧	済	済	H20	36.9	長寿命
91	26	浅川小学校	南校舎2-1.2番棟	2-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,143	1974	S49	46	旧	済	済	H20	23.6	長寿命
92	26	浅川小学校	北校舎3-1.2,3番棟	3-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,219	1975	S50	45	旧	済	済	H15	36.9	長寿命
93	26	浅川小学校	昇降口棟	4	小学校	校舎	S	1	210	1974	S49	46	旧	済	-	H19		長寿命
94	26	浅川小学校	体育館5-1.2番棟	5-1.2	小学校	体育館	S	2	979	1975	S50	45	旧	済	-	H20	25.9	長寿命
95	26	浅川小学校	西校舎	11	小学校	校舎	RC	3	969	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
96	31	芋井小学校	校舎1-1.2,3,5番棟	1-1.2,3,5	小学校	校舎	RC	3	1,708	1976	S51	44	旧	済	済	H21		長寿命
97	31	芋井小学校	体育館	5	小学校	体育館	S	2	808	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
98	31	芋井小学校	特別教室棟6-1.2番棟	6-1.2	小学校	校舎	S	2	422	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
99	29	安茂里小学校	赤心館	1	小学校	校舎	RC	2	817	1932	S7	88	旧	済	済	H23	20.8	長寿命

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の 区分
100	29	安茂里小学校	体育館	5	小学校	体育館	RC	1	839	1970	S45	50	旧	済	済	H25	43.3	長寿命
101	29	安茂里小学校	南校舎	11	小学校	校舎	S	4	2,069	1978	S53	42	旧	済	済	H20		長寿命
102	29	安茂里小学校	西校舎	17	小学校	校舎	S	3	1,274	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
103	29	安茂里小学校	東校舎	23	小学校	校舎	RC	3	1,078	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
104	58	松ヶ丘小学校	北校舎1-1,2番棟	1-1,2	小学校	校舎	RC	3	2,098	1971	S46	49	旧	済	-	H12	35.1	長寿命
105	58	松ヶ丘小学校	体育館	3	小学校	体育館	RC	1	678	1972	S47	48	旧	済	済	H12	31.7	長寿命
106	58	松ヶ丘小学校	西校舎	8	小学校	校舎	RC	3	794	1975	S50	45	旧	済	-	H22	32.3	長寿命
107	58	松ヶ丘小学校	東校舎10-1,2番棟	10-1,2	小学校	校舎	S	3	1,699	1980	S55	40	旧	済	-			長寿命
108	32	通明小学校	南校舎12-1,2番棟	12-1,2	小学校	校舎	RC	3	1,944	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
109	32	通明小学校	体育館	15	小学校	体育館	S	2	979	1985	S60	35	新	-	-			長寿命
110	32	通明小学校	北校舎	27	小学校	校舎	RC	3	3,811	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
111	32	通明小学校	西校舎	28	小学校	校舎	RC	2	506	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
112	32	通明小学校	昇降口棟	31	小学校	校舎	RC	1	262	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
113	72	篠ノ井東小学校	北校舎1-1,2,3番棟	1-1,2,3	小学校	校舎	RC	3	2,602	1976	S51	44	旧	済	-	H18	28	長寿命
114	72	篠ノ井東小学校	南校舎2-1,2,3番棟	2-1,2,3	小学校	校舎	RC	3	1,359	1976	S51	44	旧	済	-	H21	30.4	長寿命
115	72	篠ノ井東小学校	昇降口	3	小学校	校舎	S	1	256	1976	S51	44	旧	済	-	H21		長寿命
116	72	篠ノ井東小学校	体育館	5	小学校	体育館	S	2	872	1976	S51	44	旧	済	済	H14	34.6	長寿命
117	72	篠ノ井東小学校	特別教室棟	13	小学校	校舎	S	2	640	2017	H29	3	新	-	-			長寿命
118	71	篠ノ井西小学校	中校舎	1	小学校	校舎	RC	3	2,629	1973	S48	47	旧	済	済	H17	35.9	長寿命
119	71	篠ノ井西小学校	西校舎	4	小学校	校舎	RC	2	717	1974	S49	46	旧	済	済	H20	34	長寿命
120	71	篠ノ井西小学校	第1体育館	5	小学校	体育館	RC	2	723	1974	S49	46	旧	済	-	H10	20.9	長寿命
121	71	篠ノ井西小学校	東校舎12-1,2,3番棟	12-1,2,3	小学校	校舎	RC	3	2,242	1976	S51	44	旧	済	済	H18	27.9	長寿命
122	71	篠ノ井西小学校	第2体育館	16	小学校	体育館	S	2	959	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
123	71	篠ノ井西小学校	北校舎	19	小学校	校舎	RC	3	1,100	2009	H21	11	新	-	-			長寿命
124	35	共和小学校	中校舎	19	小学校	校舎	RC	2	3,577	2005	H17	15	新	-	-			長寿命
125	35	共和小学校	北校舎	20	小学校	校舎	RC	2	1,937	2005	H17	15	新	-	-			長寿命
126	35	共和小学校	南校舎	21	小学校	校舎	RC	1	1,378	2005	H17	15	新	-	-			長寿命
127	35	共和小学校	体育館	22	小学校	体育館	RC	2	1,446	2005	H17	15	新	-	-			長寿命
128	36	信里小学校	校舎1-1,2番棟	1-1,2	小学校	校舎	S	3	1,651	1978	S53	42	旧	済	済	H21		長寿命
129	36	信里小学校	体育館	3	小学校	体育館	S	2	627	1977	S52	43	旧	済	済	H19	27.4	長寿命
130	36	信里小学校	多目的棟	10	小学校	校舎	W	1	180	1993	H5	27	新	-	-			長寿命
131	38	塩崎小学校	体育館6-1,2番棟	6-1,2	小学校	体育館	S	2	688	1973	S48	47	旧	済	済	H20	25.8	長寿命
132	38	塩崎小学校	東校舎8-1,2番棟	8-1,2	小学校	校舎	S	3	2,583	1977	S52	43	旧	済	済	H9		長寿命
133	38	塩崎小学校	西校舎9-1,2番棟	9-1,2	小学校	校舎	S	2	1,490	1979	S54	41	旧	済	済	H21		長寿命
134	46	松代小学校	体育館	13	小学校	体育館	S	2	949	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
135	46	松代小学校	北校舎	19	小学校	校舎	RC	2	752	1998	H10	22	新	-	-			長寿命
136	46	松代小学校	玄関棟	23	小学校	校舎	W	2	546	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
137	46	松代小学校	昇降口棟	25	小学校	校舎	W	2	861	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
138	46	松代小学校	中校舎西棟	27	小学校	校舎	W	2	912	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
139	46	松代小学校	中校舎東棟29-1,2,3番棟	29-1,2,3	小学校	校舎	W	2	1,443	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
140	47	清野小学校	北校舎	1	小学校	校舎	S	3	1,636	1976	S51	44	旧	済	済	H21		長寿命
141	47	清野小学校	体育館	11	小学校	体育館	S	2	790	1995	H7	25	新	-	-			長寿命
142	47	清野小学校	南校舎	15	小学校	校舎	RC	2	690	2001	H13	19	新	-	-			長寿命
143	48	西条小学校	南校舎1-1,2,3番棟	1-1,2,3	小学校	校舎	RC	3	1,658	1977	S52	43	旧	済	済	H22		長寿命
144	48	西条小学校	北校舎	10	小学校	校舎	W	1	455	1993	H5	27	新	-	-			長寿命
145	48	西条小学校	体育館	16	小学校	体育館	S	1	755	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
146	49	豊栄小学校	北校舎	1	小学校	校舎	RC	3	1,427	1967	S42	53	旧	済	-	H20	21.3	長寿命
147	49	豊栄小学校	南校舎	11	小学校	校舎	RC	2	408	2002	H14	18	新	-	-			長寿命
148	49	豊栄小学校	体育館	14	小学校	体育館	S	1	898	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
149	50	東条小学校	中校舎	1	小学校	校舎	RC	2	1,143	1971	S46	49	旧	済	済	H18	23.7	長寿命

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分
150	50	東条小学校	昇降口棟	2	小学校	校舎	S	1	104	1972	S47	48	旧	-	-		長寿命	
151	50	東条小学校	北校舎3-1.2番棟	3-1.2	小学校	校舎	RC	2	1,459	1972	S47	48	旧	済	-	H20	21.3	長寿命
152	50	東条小学校	体育館	4	小学校	体育館	S	2	875	1978	S53	42	旧	済	済	H17	29.4	長寿命
153	50	東条小学校	南校舎15-1.2番棟	15-1.2	小学校	校舎	RC	2	1,322	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
154	51	寺尾小学校	北校舎2-1.2,3,4番棟	2-1.2,3,4	小学校	校舎	RC	2	1,641	1969	S44	51	旧	済	済	H20	31.59	長寿命
155	51	寺尾小学校	南校舎5-1.2番棟	5-1.2	小学校	校舎	RC	2	849	1973	S48	47	旧	済	-	H18	25.3	長寿命
156	51	寺尾小学校	体育館	15	小学校	体育館	S	2	810	1997	H9	23	新	-	-			長寿命
157	54	綿内小学校	南校舎5-1.2番棟	5-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,766	1972	S47	48	旧	済	済	H8	31.76	長寿命
158	54	綿内小学校	東校舎	10	小学校	校舎	RC	3	1,390	1979	S54	41	旧	済	済	H17	28.1	長寿命
159	54	綿内小学校	北校舎	12	小学校	校舎	RC	3	1,500	1980	S55	40	旧	済	済	H18	34.3	長寿命
160	54	綿内小学校	体育館	17	小学校	体育館	S	2	1,133	2000	H12	20	新	-	-			長寿命
161	53	川田小学校	北校舎10-1.2番棟	10-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,870	1973	S48	47	旧	済	-	H12	41.3	長寿命
162	53	川田小学校	南校舎東12-1.2番棟	12-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,270	1979	S54	41	旧	済	-	H21	35.7	長寿命
163	53	川田小学校	体育館	14	小学校	体育館	S	2	791	1981	S56	39	旧	済	-	H15	26.5	長寿命
164	53	川田小学校	昇降口棟	16	小学校	校舎	S	1	265	1979	S54	41	旧	済	-	H21		長寿命
165	53	川田小学校	南校舎西	17	小学校	校舎	RC	2	278	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
166	52	保科小学校	南校舎6-1.2番棟	6-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,341	1977	S52	43	旧	済	-	H12	36.1	長寿命
167	52	保科小学校	特別教室棟	7	小学校	校舎	W	1	223	1977	S52	43	旧	-	-			長寿命
168	52	保科小学校	北校舎10-1.2番棟	10-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,607	1981	S56	39	旧	済	済	H21	31.7	長寿命
169	52	保科小学校	昇降口棟	11	小学校	校舎	RC	1	228	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
170	52	保科小学校	図書館	13	小学校	校舎	RC	1	175	1999	H11	21	新	-	-			長寿命
171	52	保科小学校	体育館	23	小学校	体育館	S	1	853	2010	H22	10	新	-	-			長寿命
172	39	昭和小学校	中校舎20-1.2,3,4番棟	20-1.2,3,4	小学校	校舎	RC	3	1,781	1979	S54	41	旧	済	済	H20	24.5	長寿命
173	39	昭和小学校	昇降口棟	21	小学校	校舎	RC	2	457	1979	S54	41	旧	済	-	H20	27.9	長寿命
174	39	昭和小学校	北校舎	22	小学校	校舎	RC	3	1,243	1980	S55	40	旧	済	済	H20	26.2	長寿命
175	39	昭和小学校	第1体育館	25	小学校	体育館	S	2	949	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
176	39	昭和小学校	第2体育館	32	小学校	体育館	S	1	628	1998	H10	22	新	-	-			長寿命
177	39	昭和小学校	特別教室棟	34	小学校	校舎	RC	3	755	1999	H11	21	新	-	-			長寿命
178	39	昭和小学校	南校舎	43	小学校	校舎	RC	3	2,704	2015	H27	5	新	-	-			長寿命
179	40	川中島小学校	西校舎	21	小学校	校舎	RC	2	1,162	1980	S55	40	旧	済	-	H10	27.2	長寿命
180	40	川中島小学校	南校舎22-1.2,3番棟	22-1.2,3	小学校	校舎	RC	3	2,491	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
181	40	川中島小学校	昇降口棟24-1.2,3番棟	24-1.2,3	小学校	校舎	S	1	186	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
182	40	川中島小学校	体育館	26	小学校	体育館	S	2	950	1985	S60	35	新	-	-			長寿命
183	40	川中島小学校	北校舎	35	小学校	校舎	RC	3	2,498	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
184	45	青木島小学校	北校舎16-1.2番棟	16-1.2	小学校	校舎	RC	3	1,873	1976	S51	44	旧	済	済	H20	33.9	長寿命
185	45	青木島小学校	北校舎16-3番棟	16-3	小学校	校舎	RC	3	872	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
186	45	青木島小学校	体育館	20	小学校	体育館	S	2	1,097	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
187	45	青木島小学校	南校舎	27	小学校	校舎	RC	3	3,343	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
188	44	下水鉦小学校	北校舎1-1.2番棟	1-1.2	小学校	校舎	RC	3	2,324	1977	S52	43	旧	済	済	H17	26.8	長寿命
189	44	下水鉦小学校	南校舎	14	小学校	校舎	RC	3	2,060	1979	S54	41	旧	済	-	H9	44.4	長寿命
190	44	下水鉦小学校	昇降口棟	15	小学校	校舎	S	1	271	1979	S54	41	旧	済	-	H21		長寿命
191	44	下水鉦小学校	第2体育館	22	小学校	体育館	S	2	951	1985	S60	35	新	-	-			長寿命
192	44	下水鉦小学校	北校舎29番棟	29	小学校	校舎	RC	3	936	2008	H20	12	新	-	-			長寿命
193	44	下水鉦小学校	特別教室棟	31	小学校	校舎	S	1	924	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
194	75	三本柳小学校	北校舎	1	小学校	校舎	RC	2	1,920	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
195	75	三本柳小学校	西校舎2-1.2番棟	2-1.2	小学校	校舎	RC	2	2,058	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
196	75	三本柳小学校	中校舎3-1.2番棟	3-1.2	小学校	校舎	RC	2	2,317	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
197	75	三本柳小学校	体育館4-1.2番棟	4-1.2	小学校	体育館	S	2	1,452	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
198	75	三本柳小学校	東校舎	10	小学校	校舎	RC	2	196	1999	H11	21	新	-	-			長寿命
199	75	三本柳小学校	南校舎	12	小学校	校舎	RC	2	1,217	2004	H16	16	新	-	-			長寿命

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分
200	43	真島小学校	南校舎12-1,2,3,4番棟	12-1,2,3,4	小学校	校舎	RC	3	2,090	1978	S53	42	旧	済	-	H11	34.06	長寿命
201	43	真島小学校	昇降口棟	14	小学校	校舎	RC	1	170	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
202	43	真島小学校	北校舎	15	小学校	校舎	RC	2	520	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
203	43	真島小学校	体育館	16	小学校	体育館	S	2	957	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
204	55	七二会小学校	北校舎	3	小学校	校舎	RC	2	771	1967	S42	53	旧	済	済	H20	23.2	長寿命
205	55	七二会小学校	体育館	8	小学校	体育館	RC	2	462	1972	S47	48	旧	済	済	H12	25.2	長寿命
206	55	七二会小学校	南校舎	9	小学校	校舎	RC	3	1,403	1979	S54	41	旧	済	済	H21		長寿命
207	55	七二会小学校	昇降口棟	12	小学校	校舎	W	1	104	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
208	60	信更小学校	校舎8-1番棟	8-1	小学校	校舎	RC	2	1,371	1972	S47	48	旧	済	-	H13	27.9	長寿命
209	60	信更小学校	校舎8-3番棟	8-3	小学校	校舎	S	2	395	2002	H14	18	新	-	-			長寿命
210	60	信更小学校	体育館10-1,2番棟	10-1,2	小学校	体育館	S	2	641	1980	S55	40	旧	済	済	H17	32.4	長寿命
211	60	信更小学校	特別教室棟	16	小学校	校舎	RC	1	259	1987	S62	33	新	-	-			長寿命
212	76	豊野西小学校	南校舎	9	小学校	校舎	RC	3	2,187	1980	S55	40	旧	済	済	H19	35.07	長寿命
213	76	豊野西小学校	管理棟	13	小学校	校舎	RC	3	1,489	1981	S56	39	旧	済	済	H19	23.09	長寿命
214	76	豊野西小学校	北校舎	14	小学校	校舎	RC	3	1,146	1981	S56	39	旧	済	-	H19	26.63	長寿命
215	76	豊野西小学校	体育館	16	小学校	体育館	S	2	1,204	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
216	77	豊野東小学校	北校舎	1	小学校	校舎	RC	3	1,821	1978	S53	42	旧	済	済	H18	47.6	長寿命
217	77	豊野東小学校	南校舎	5	小学校	校舎	RC	2	1,763	1979	S54	41	旧	済	済	H21	30.4	長寿命
218	77	豊野東小学校	体育館	6	小学校	体育館	S	1	804	1979	S54	41	旧	済	済	H17		長寿命
219	78	戸隠小学校	南校舎	2	小学校	校舎	RC	2	1,346	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
220	78	戸隠小学校	北校舎3-1,2番棟	3-1,2	小学校	校舎	RC	2	1,132	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
221	78	戸隠小学校	体育館15-1,2番棟	15-1,2	小学校	体育館	S	2	1,396	2004	H16	16	新	-	-			長寿命
222	78	戸隠小学校	東校舎	17	小学校	校舎	RC	2	548	2006	H18	14	新	-	-			長寿命
223	81	鬼無里小学校	北校舎	1	小学校	校舎	RC	3	2,193	1980	S55	40	旧	済	済	H19	38.3	長寿命
224	81	鬼無里小学校	南校舎	2	小学校	校舎	RC	1	618	1980	S55	40	旧	済	-	H21	47.8	長寿命
225	81	鬼無里小学校	西校舎3-1,2番棟	3-1,2	小学校	校舎	RC	1	548	1980	S55	40	旧	済	-	H21	22.3	長寿命
226	81	鬼無里小学校	昇降口棟	4	小学校	校舎	S	1	181	1980	S55	40	旧	-	-			長寿命
227	81	鬼無里小学校	体育館6-1,2番棟	6-1,2	小学校	体育館	S	2	1,641	1981	S56	39	旧	済	済	H20	39.1	長寿命
228	81	鬼無里小学校	特別教室棟	22	小学校	校舎	W	1	596	2018	H30	2	新	-	-			長寿命
229	82	大岡小学校	校舎	11	小学校	校舎	RC	3	1,967	1977	S52	43	旧	済	済	H20	27.9	長寿命
230	83	信州新町小学校	北校舎	1	小学校	校舎	S	3	2,214	1978	S53	42	旧	済	済	H11	19.6	長寿命
231	83	信州新町小学校	中校舎	2,3	小学校	校舎	RC	3	1,870	1978	S53	42	旧	済	済	H12	31.37	長寿命
232	83	信州新町小学校	体育館	4-1,2,3,4,5	小学校	体育館	S	2	1,641	1979	S54	41	旧	済	済	H10	29.7	長寿命
233	84	中条小学校	南校舎	1	小学校	校舎	RC	2	654	1977	S52	43	旧	済	済	H21	28.5	長寿命
234	84	中条小学校	中校舎	2	小学校	校舎	RC	2	1,010	1977	S52	43	旧	済	-	H21	24.8	長寿命
235	84	中条小学校	東校舎	3	小学校	校舎	RC	3	1,152	1977	S52	43	旧	済	済	H21	26.1	長寿命
236	84	中条小学校	北校舎	4	小学校	校舎	RC	2	622	1977	S52	43	旧	済	-	H11	28.99	長寿命
237	84	中条小学校	給食棟	5	小学校	校舎	RC	1	177	1977	S52	43	旧	-	-	H21	30.1	長寿命
238	84	中条小学校	体育館	7	小学校	体育館	RC	1	1,376	1978	S53	42	旧	済	-	H19	29.9	長寿命
239	3511	柳町中学校	中校舎2-1,2番棟	2-1,2	中学校	校舎	S	4	3,168	1977	S52	43	旧	済	済	H10		長寿命
240	3511	柳町中学校	昇降口棟	4	中学校	校舎	S	1	210	1978	S53	42	旧	済	-	H17		長寿命
241	3511	柳町中学校	弥生体育館	14	中学校	体育館	S	2	1,151	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
242	3511	柳町中学校	柳魂道場	22	中学校	武道場	S	1	459	1988	S63	32	新	-	-			長寿命
243	3511	柳町中学校	南校舎34-1,2番棟	34-1,2	中学校	校舎	RC	3	4,447	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
244	3511	柳町中学校	体育館	36	中学校	体育館	S	1	985	2015	H27	5	新	-	-			長寿命
245	3512	櫻ヶ岡中学校	南校舎13-1,2番棟	13-1,2	中学校	校舎	RC	4	1,558	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
246	3512	櫻ヶ岡中学校	第2体育館(櫻翔館)	15	中学校	体育館	S	1	925	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
247	3512	櫻ヶ岡中学校	櫻ホール	21	中学校	校舎	S	1	150	1995	H7	25	新	-	-			長寿命
248	3512	櫻ヶ岡中学校	第1体育館(櫻舞館)	26	中学校	体育館	RC	2	1,485	2010	H22	10	新	-	-			長寿命
249	3512	櫻ヶ岡中学校	北校舎	27	中学校	校舎	RC	3	3,324	2011	H23	9	新	-	-			長寿命

建物基本情報												構造躯体の健全性						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分
250	3512	櫻ヶ岡中学校	中校舎	29	中学校	校舎	RC	3	2,669	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
251	3512	櫻ヶ岡中学校	昇降口棟	30	中学校	校舎	RC	3	935	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
252	3512	櫻ヶ岡中学校	木工室	32	中学校	校舎	RC	1	169	2014	H26	6	新	-	-			長寿命
253	3514	東部中学校	南校舎3-1.2番棟	3-1.2	中学校	校舎	RC	3	1,729	1969	S44	51	旧	済	済	H17	30.1	長寿命
254	3514	東部中学校	東校舎	12	中学校	校舎	RC	3	1,700	1973	S48	47	旧	済	済	H10	18.4	長寿命
255	3514	東部中学校	昇降口棟	17	中学校	校舎	S	1	338	1979	S54	41	旧	済	-	H17		長寿命
256	3514	東部中学校	第1体育館	21	中学校	体育館	S	2	1,127	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
257	3514	東部中学校	特別教室棟	24	中学校	校舎	RC	2	759	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
258	3514	東部中学校	第2体育館	32-1.2.3.4.5.6	中学校	体育館	S	2	2,047	1989	H元	31	新	-	-			長寿命
259	3514	東部中学校	西校舎	39	中学校	校舎	RC	3	3,067	2013	H25	7	新	-	-			長寿命
260	3515	西部中学校	あさひ体育館	11	中学校	体育館	S	2	876	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
261	3515	西部中学校	南校舎	16	中学校	校舎	RC	3	1,238	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
262	3515	西部中学校	北校舎	32	中学校	校舎	RC	3	3,676	2004	H16	16	新	-	-			長寿命
263	3515	西部中学校	りんどう体育館(複合)34-1.2番棟	34	中学校	体育館	S	3	2,187	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
264	3516	三陽中学校	中校舎	13	中学校	校舎	RC	3	830	1971	S46	49	旧	済	済	H9	29.4	長寿命
265	3516	三陽中学校	南校舎22-1.2.3番棟	22-1.2.3	中学校	校舎	S	4	3,352	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
266	3516	三陽中学校	北校舎東棟	26	中学校	校舎	S	3	1,959	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
267	3516	三陽中学校	昇降口棟	27	中学校	校舎	S	2	667	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
268	3516	三陽中学校	第1体育館	28	中学校	体育館	S	2	1,140	1983	S58	37	新	-	-			長寿命
269	3516	三陽中学校	第2体育館	30	中学校	体育館	S	1	995	1989	H元	31	新	-	-			長寿命
270	3516	三陽中学校	澄心館	35	中学校	武道場	S	1	448	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
271	3516	三陽中学校	北校舎西棟	41	中学校	校舎	RC	3	1,624	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
272	3518	東北中学校	三葉体育館	15	中学校	体育館	S	2	1,133	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
273	3518	東北中学校	北校舎19-1.2番棟	19-1.2	中学校	校舎	S	4	4,845	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
274	3518	東北中学校	技術科棟	21	中学校	校舎	S	1	304	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
275	3518	東北中学校	昇降口棟	22	中学校	校舎	S	1	359	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
276	3518	東北中学校	千曲体育館(複合)25-1.2.3番棟	25	中学校	体育館	S	2	1,708	1991	H3	29	新	-	-			長寿命
277	3518	東北中学校	南校舎	34	中学校	校舎	S	3	2,451	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
278	3517	北部中学校	北校舎17-1.2.3番棟	17-1.2.3	中学校	校舎	RC	4	2,911	1975	S50	45	旧	済	済	H17	25.9	長寿命
279	3517	北部中学校	飯綱講堂	22	中学校	体育館	S	2	1,145	1982	S57	38	新	-	-			長寿命
280	3517	北部中学校	中校舎	26	中学校	校舎	RC	3	2,142	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
281	3517	北部中学校	昇降口棟	27	中学校	校舎	RC	1	331	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
282	3517	北部中学校	技術科棟	28	中学校	校舎	RC	1	304	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
283	3517	北部中学校	南校舎	33	中学校	校舎	RC	4	2,546	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
284	3517	北部中学校	三登体育館	36	中学校	体育館	S	1	920	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
285	3517	北部中学校	伺道館	38	中学校	武道場	S	1	455	1997	H9	23	新	-	-			長寿命
286	3519	裾花中学校	金工・木工室棟	20	中学校	校舎	S	1	287	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
287	3519	裾花中学校	西校舎	21	中学校	校舎	RC	2	838	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
288	3519	裾花中学校	東校舎	22	中学校	校舎	RC	2	816	1981	S56	39	旧	-	-			長寿命
289	3519	裾花中学校	北校舎23-1.2番棟	23-1.2	中学校	校舎	RC	3	2,879	1984	S59	36	新	-	-			長寿命
290	3519	裾花中学校	北体育館	31	中学校	体育館	S	2	1,203	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
291	3519	裾花中学校	南体育館(複合)	34	中学校	体育館	RC	2	1,967	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
292	3519	裾花中学校	中校舎	40	中学校	校舎	RC	3	1,514	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
293	3519	裾花中学校	南校舎	41	中学校	校舎	RC	3	2,096	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
294	3530	犀陵中学校	北校舎	1	中学校	校舎	RC	3	4,158	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
295	3530	犀陵中学校	中校舎	2	中学校	校舎	RC	3	3,657	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
296	3530	犀陵中学校	南校舎	3	中学校	校舎	RC	1	386	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
297	3530	犀陵中学校	体育館4-1.2.3番棟(複合)	4-1.2.3	中学校	体育館	S	2	2,151	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
298	3522	篠ノ井東中学校	桐輝館	17	中学校	体育館	S	1	1,000	1988	S63	32	新	-	-			長寿命
299	3522	篠ノ井東中学校	心技館	19	中学校	武道場	S	1	446	1991	H3	29	新	-	-			長寿命

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の 区分
300	3522	篠ノ井東中学校	南校舎	20	中学校	校舎	RC	2	2,014	2001	H13	19	新	-	-		長寿命	
301	3522	篠ノ井東中学校	特別教室棟	21	中学校	校舎	RC	1	279	2001	H13	19	新	-	-		長寿命	
302	3522	篠ノ井東中学校	管理棟	32	中学校	校舎	RC	2	1,920	2015	H27	5	新	-	-		長寿命	
303	3522	篠ノ井東中学校	中校舎	33	中学校	校舎	RC	2	1,954	2015	H27	5	新	-	-		長寿命	
304	3522	篠ノ井東中学校	昇降口棟	34	中学校	校舎	RC	2	387	2015	H27	5	新	-	-		長寿命	
305	3522	篠ノ井東中学校	西校舎	35	中学校	校舎	RC	2	276	2015	H27	5	新	-	-		長寿命	
306	3522	篠ノ井東中学校	励志館	36	中学校	体育館	RC	2	1,388	2014	H26	6	新	-	-		長寿命	
307	3523	篠ノ井西中学校	東体育館	18	中学校	体育館	S	1	1,000	1987	S62	33	新	-	-		長寿命	
308	3523	篠ノ井西中学校	南校舎21-1.2番棟	21-1.2	中学校	校舎	RC	2	1,795	1991	H3	29	新	-	-		長寿命	
309	3523	篠ノ井西中学校	中校舎	23	中学校	校舎	RC	2	1,711	1994	H6	26	新	-	-		長寿命	
310	3523	篠ノ井西中学校	昇降口棟	26	中学校	校舎	RC	2	1,778	1995	H7	25	新	-	-		長寿命	
311	3523	篠ノ井西中学校	泉心館	28	中学校	体育館	S	1	455	1996	H8	24	新	-	-		長寿命	
312	3523	篠ノ井西中学校	コンテナ室棟	29	中学校	校舎	S	2	365	1996	H8	24	新	-	-		長寿命	
313	3523	篠ノ井西中学校	北校舎	36	中学校	校舎	RC	3	2,919	2011	H23	9	新	-	-		長寿命	
314	3523	篠ノ井西中学校	西体育館	37	中学校	体育館	S	2	1,400	2011	H23	9	新	-	-		長寿命	
315	3527	松代中学校	第2校舎23-1.2番棟	23-1.2	中学校	校舎	S	2	1,878	1980	S55	40	旧	済	済	H21	長寿命	
316	3527	松代中学校	第1校舎	25	中学校	校舎	S	2	748	1981	S56	39	旧	済	済	H21	長寿命	
317	3527	松代中学校	第3校舎27-1番棟	27-1	中学校	校舎	S	2	1,020	1982	S57	38	新	-	-		長寿命	
318	3527	松代中学校	第3校舎27-2番棟	27-2	中学校	校舎	S	2	788	1994	H6	26	新	-	-		長寿命	
319	3527	松代中学校	昇降口棟1	28	中学校	校舎	S	1	143	1982	S57	38	新	-	-		長寿命	
320	3527	松代中学校	昇降口棟2	29	中学校	校舎	S	1	141	1982	S57	38	新	-	-		長寿命	
321	3527	松代中学校	第4校舎	30	中学校	校舎	S	2	1,796	1983	S58	37	新	-	-		長寿命	
322	3527	松代中学校	第5校舎	31	中学校	校舎	S	2	911	1983	S58	37	新	-	-		長寿命	
323	3527	松代中学校	海津体育館	38	中学校	体育館	S	1	1,006	1988	S63	32	新	-	-		長寿命	
324	3527	松代中学校	松心館	40	中学校	武道場	S	1	455	1990	H2	30	新	-	-		長寿命	
325	3527	松代中学校	かりがね体育館	47	中学校	体育館	S	2	1,412	2002	H14	18	新	-	-		長寿命	
326	3528	若穂中学校	北校舎	14	中学校	校舎	RC	3	3,116	1987	S62	33	新	-	-		長寿命	
327	3528	若穂中学校	東校舎	15	中学校	校舎	RC	3	636	1987	S62	33	新	-	-		長寿命	
328	3528	若穂中学校	南校舎	16	中学校	校舎	RC	3	2,084	1988	S63	32	新	-	-		長寿命	
329	3528	若穂中学校	西校舎	17	中学校	校舎	RC	1	304	1988	S63	32	新	-	-		長寿命	
330	3528	若穂中学校	体育館26-1.2番棟	26-1.2	中学校	体育館	S	2	1,680	1993	H5	27	新	-	-		長寿命	
331	3528	若穂中学校	武道館	30	中学校	武道場	S	1	455	1997	H9	23	新	-	-		長寿命	
332	3524	川中島中学校	西体育館	14	中学校	体育館	S	2	1,040	1970	S45	50	旧	済	済	H18	21	長寿命
333	3524	川中島中学校	南校舎17-1.2番棟	17-1.2	中学校	校舎	RC	4	2,890	1978	S53	42	旧	済	済	H17	29	長寿命
334	3524	川中島中学校	昇降口棟	18	中学校	校舎	RC	2	583	1980	S55	40	旧	済	-	H18	47.3	長寿命
335	3524	川中島中学校	中校舎	19	中学校	校舎	RC	4	2,056	1981	S56	39	旧	-	-		長寿命	
336	3524	川中島中学校	北校舎22-1.2番棟	22-1.2	中学校	校舎	RC	4	1,897	1982	S57	38	新	-	-		長寿命	
337	3524	川中島中学校	北体育館	28	中学校	体育館	S	2	1,257	1986	S61	34	新	-	-		長寿命	
338	3524	川中島中学校	克己館	31	中学校	武道場	S	1	441	1993	H5	27	新	-	-		長寿命	
339	3524	川中島中学校	プレハブ校舎	33	中学校	校舎	S	2	266	1988	S63	32	新	-	-		長寿命	
340	3524	川中島中学校	新校舎	34	中学校	校舎	S	2	573	2012	H24	8	新	-	-		長寿命	
341	3526	更北中学校	第3音楽室	5	中学校	校舎	W	1	185	1966	S41	54	旧	-	-		長寿命	
342	3526	更北中学校	南校舎16-1.2,3番棟	16-1.2,3	中学校	校舎	RC	4	4,865	1979	S54	41	旧	済	済	H17	31.8	長寿命
343	3526	更北中学校	北校舎18-1.2番棟	18-1.2	中学校	校舎	RC	4	2,142	1981	S56	39	旧	-	-		長寿命	
344	3526	更北中学校	昇降口棟	19	中学校	校舎	RC	3	889	1981	S56	39	旧	-	-		長寿命	
345	3526	更北中学校	三心体育館	21	中学校	体育館	S	2	1,163	1982	S57	38	新	-	-		長寿命	
346	3526	更北中学校	技術科棟	24	中学校	校舎	RC	1	272	1983	S58	37	新	-	-		長寿命	
347	3526	更北中学校	西校舎	30	中学校	校舎	RC	3	539	1991	H3	29	新	-	-		長寿命	
348	3526	更北中学校	三気体育館(複合) 35-1.2,3番棟	35-1.2,3	中学校	体育館	S	2	1,700	1996	H8	24	新	-	-		長寿命	
349	3531	広徳中学校	南校舎	1	中学校	校舎	RC	3	3,095	1994	H6	26	新	-	-		長寿命	



建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分		構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の 区分
350	3531	広徳中学校	昇降口棟	2	中学校	校舎	RC	3	2,429	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
351	3531	広徳中学校	北校舎	3	中学校	校舎	RC	3	2,471	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
352	3531	広徳中学校	体育館4-1,2,3番棟 (複合)	4-1,2,3	中学校	体育館	S	2	2,046	1994	H6	26	新	-	-			長寿命
353	3529	七二会中学校	南校舎1-1,2番棟	1-1,2	中学校	校舎	S	3	1,143	1978	S53	42	旧	済	済	H17		長寿命
354	3529	七二会中学校	北校舎	7	中学校	校舎	S	2	1,459	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
355	3529	七二会中学校	体育館	13	中学校	体育館	RC	2	1,127	2016	H28	4	新	-	-			長寿命
356	3525	信更中学校	校舎	14	中学校	校舎	S	3	2,382	1979	S54	41	旧	済	済	H21	31.2	長寿命
357	3525	信更中学校	体育館	18	中学校	体育館	S	2	911	1985	S60	35	新	-	-			長寿命
358	3525	信更中学校	特別教室棟	20	中学校	校舎	W	1	293	1992	H4	28	新	-	-			長寿命
359	3532	豊野中学校	特別棟	9	中学校	校舎	RC	2	1,331	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
360	3532	豊野中学校	本校舎	26	中学校	校舎	RC	3	3,670	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
361	3532	豊野中学校	体育館(複合)	27	中学校	体育館	S	3	2,777	2011	H23	9	新	-	-			長寿命
362	3533	戸隠中学校	校舎1-1,2番棟	1-1,2	中学校	校舎	S	3	3,349	1978	S53	42	旧	済	済	H22	24.2	長寿命
363	3533	戸隠中学校	体育館	2,3	中学校	体育館	RC	3	1,669	1978	S53	42	旧	済	済	H17	30	長寿命
364	3535	大岡中学校	体育館	6	中学校	体育館	S	1	832	1970	S45	50	旧	済	済	H18		長寿命
365	3535	大岡中学校	校舎	7	中学校	校舎	RC	3	1,562	1976	S51	44	旧	済	済	H18	26.5	長寿命
366	3535	大岡中学校	技術科棟	8	中学校	校舎	S	1	160	1976	S51	44	旧	-	-			長寿命
367	3536	信州新町中学校	体育館	9	中学校	体育館	S	2	1,006	1962	S37	58	旧	済	済	H18	35.1	長寿命
368	3536	信州新町中学校	格技場	19	中学校	武道場	S	1	318	1973	S48	47	旧	-	済	H20	21.5	長寿命
369	3536	信州新町中学校	北校舎	23	中学校	校舎	RC	3	2,104	1989	H元	31	新	-	-			長寿命
370	3536	信州新町中学校	南校舎	24	中学校	校舎	RC	2	1,571	1989	H元	31	新	-	-			長寿命
371	3536	信州新町中学校	特別教室棟	25	中学校	校舎	RC	1	238	1989	H元	31	新	-	-			長寿命
372	3536	信州新町中学校	コンテナ室	27	中学校	校舎	RC	1	140	1990	H2	30	新	-	-			長寿命
373	3537	中条中学校	校舎	1	中学校	校舎	RC	3	2,338	1993	H5	27	新	-	-			長寿命
374	3537	中条中学校	体育館	2	中学校	体育館	RC	1	952	1967	S42	53	旧	-	済	H20	26.1	長寿命

給食施設一覧

■: 築50年以上 □: 築30年以上

建物基本情報												構造躯体の健全性						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分
1	K001	第一学校給食センター	第一学校給食センター	4	給食センター	給食センター	S	2	4,804	2019	R元	1	新				長寿命	
2	K002	第二学校給食センター	第二学校給食センター	7	給食センター	給食センター	S	2	2,995	2002	H14	18	新				長寿命	
3	K056	戸隠学校給食共同調理場	戸隠学校給食共同調理場	1	給食センター	給食センター	R	1	277	1978	S53	42	旧	済	済	H17	30	長寿命
4	K057	鬼無里学校給食共同調理場	鬼無里学校給食共同調理場	1,2	給食センター	給食センター	S	1	250	1980	S55	40	旧	済	-	H21	22.3	長寿命
5	K058	中条学校給食共同調理場	中条学校給食共同調理場	1	給食センター	給食センター	R	1	166	1977	S52	43	旧	済	-	H21	30.1	長寿命
6	K100	大岡学校給食共同調理場	大岡学校給食共同調理場	1	給食センター	給食センター	R	1	151	1977	S52	43	旧	済	済	H20	27.9	長寿命
7	K178	信州新町学校給食共同調理場	信州新町学校給食共同調理場	1	給食センター	給食センター	R	2	166	1979	S54	41	旧	済	済	H10	29.7	長寿命
8	K186	第四学校給食センター	第四学校給食センター	1	給食センター	給食センター	S	2	6,530	2016	H28	4	新				長寿命	

## 高等学校施設一覧

: 築50年以上
  : 築30年以上

建物基本情報													構造躯体の健全性				
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)
1	5526	市立長野高校	北校舎西棟	1	高等学校	校舎	RC	3	3,187	2007	H19	12	新				長寿命
2	5526	市立長野高校	北校舎東棟	2	高等学校	校舎	R	3	3,189	2007	H19	12	新				長寿命
3	5526	市立長野高校	昇降口棟	3	高等学校	校舎	R	3	816	2007	H19	12	新				長寿命
4	5526	市立長野高校	南校舎西棟	4	高等学校	校舎	R	2	214	2007	H19	12	新				長寿命
5	5526	市立長野高校	南校舎東棟	5	高等学校	校舎	R	2	1,219	2007	H19	12	新				長寿命
6	5526	市立長野高校	南校舎ホール棟	6	高等学校	校舎	R	2	171	2007	H19	12	新				長寿命
7	5526	市立長野高校	南校舎階段室	7	高等学校	校舎	R	3	229	2007	H19	12	新				長寿命
8	5526	市立長野高校	複合体育館棟	11	高等学校	体育館	S	4	4,962	2009	H21	10	新				長寿命
9	5526	市立長野高校	セミナーハウス	13	高等学校	校舎	S	2	356	1994	H6	25	新				長寿命
10	5526	市立長野高校	南校舎西棟	15	高等学校	校舎	R	2	1,008	2011	H23	8	新				長寿命
11	5526	市立長野高校	多目的ホール	16	高等学校	校舎	S	2	626	2011	H23	8	新				長寿命

【本計画のお問い合わせ先】  
・教育委員会事務局 総務課  
電話 026-224-5069